

【南新井自治会 住民の意識調査プロジェクト】

住民の意識調査 アンケート調査結果

添付資料

2021年3月3日

アンケート調査集計結果

- 調査の概要および回答者属性
- 項目別調査結果集計
 - 1) 自治会への加入に対する考え方、活動の理解とコミュニケーション
 - 2) 防災活動について
 - 3) その他のイベントについて
 - 4) 四役・組長の負担について

Appendix

アンケート調査の概要

1. プロジェクトの目的

自治会の活動を地域防災を軸とした活動にシフトしていくために；

地域防災活動における自治会の位置づけ・役割を明確化すること

地域防災活動に対する住民の理解を高め参加を促進するため、新規会員数をできる限り増やすこと

2. アンケート調査の目的

住民の自治会活動への理解や参加を促進するために必要な施策の方向性を見つける

3. 調査対象

南新井地区にお住いのみなさま

4. 調査方法

紙面・webによるアンケート、掲示板・自治会HPへ案内掲載

5. 調査期間

2020年12月9日 ～ 2020年12月24日 + α ※web回答は、2020年12月28日迄 + α

6. 回収状況

	対象	回収			回収率
		紙面	web	合計	
自治会加入	196	113	26	139	70.1%
自治会未加入	194	21	19	40	20.6%
合計	390	134	45	179	45.9%

(参考) アンケートの回収率

○高い回収率が見込まれるもの (40%以上)

- ・ 事前に募集した消費者に対する調査 (サービスモニターなど)
- ・ BtoBで業務上重要と思われるもの (クライアントからの調査依頼など)
- ・ 業界団体など各種団体の会員向け調査 
- ・ 市区町村による生活に密着した調査
- ・ 県や国による調査のうち、重要度が高いもの (政府統計など)

○普通の回収率が見込まれるもの (20~40%)

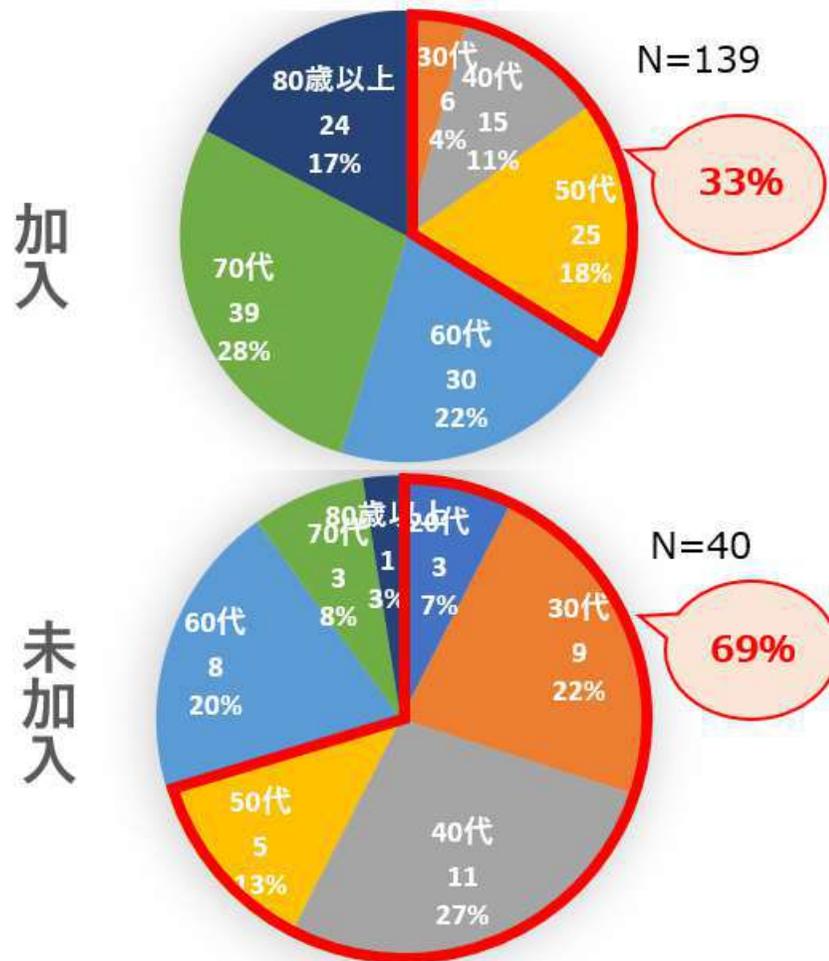
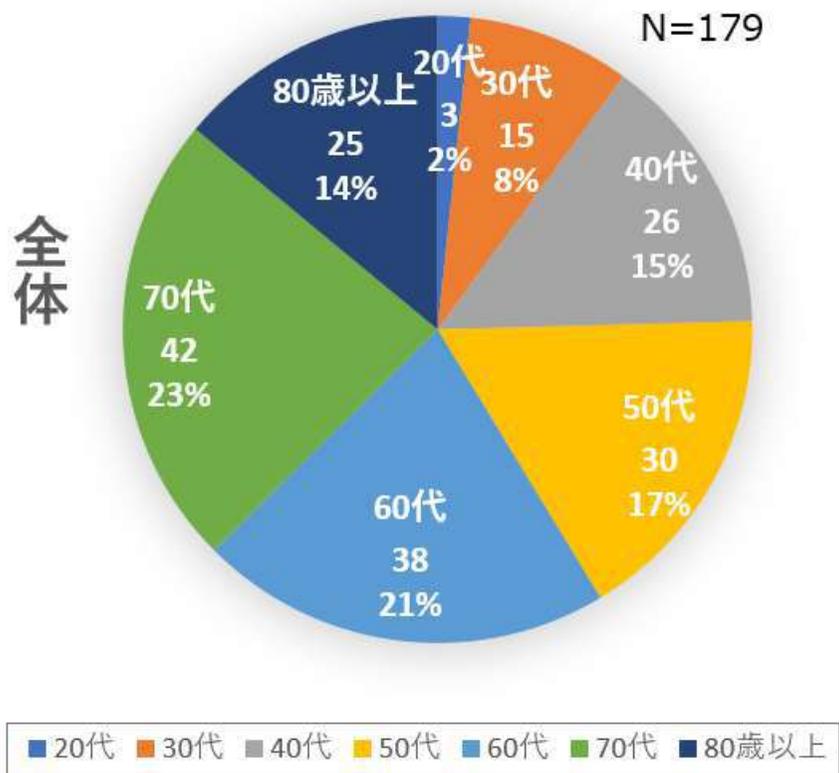
- ・ 消費者に対する顧客満足度調査 (CS調査) 
- ・ 県や国による調査、一般的な意識調査
- ・ 大学や研究機関による意識調査

○低い回収率が見込まれるもの (20%以下)

- ・ 上場企業を対象とした調査
- ・ 不特定多数の企業・個人に対する調査 (電話帳情報からランダムに送るなど)
- ・ 特定の傾向をもった団体からの調査

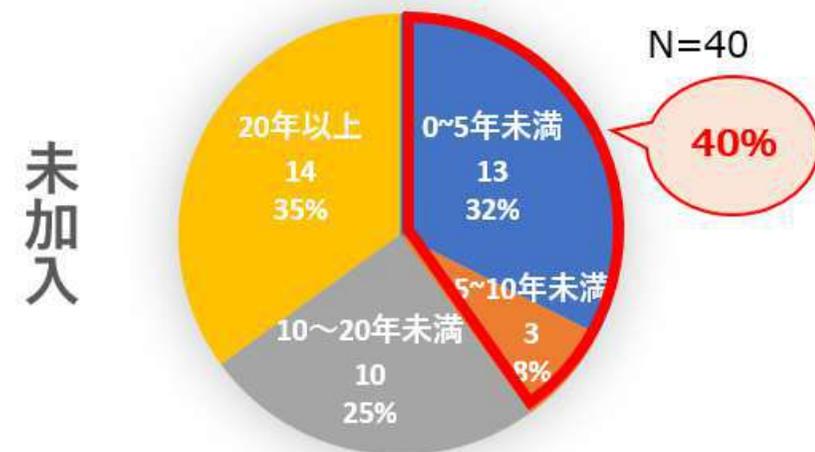
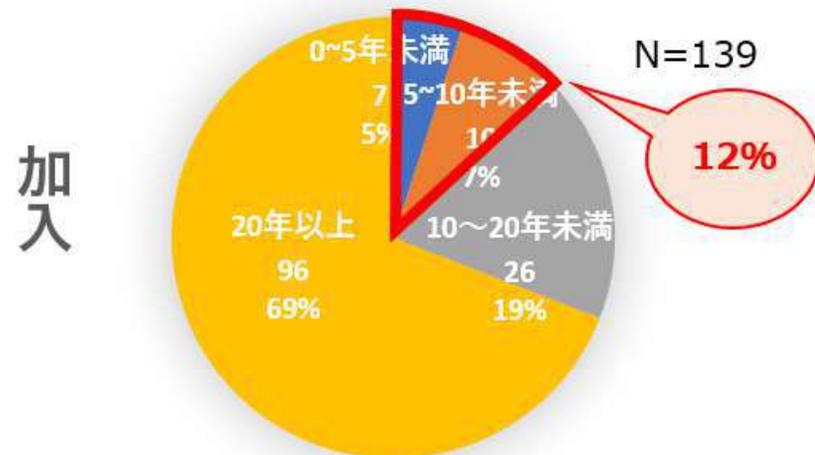
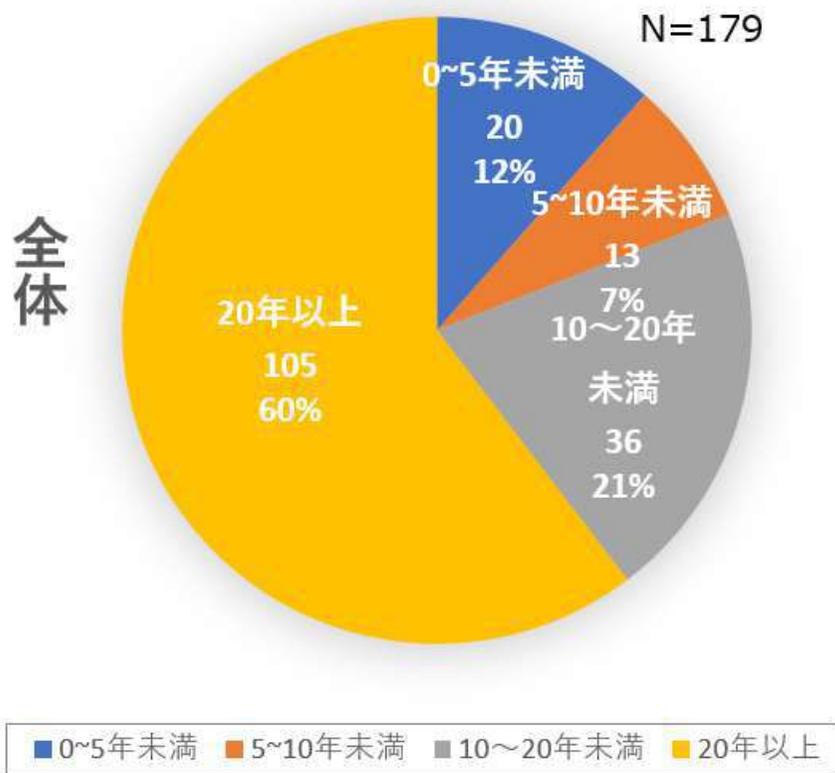
出典:株式会社リサーチワークスHP

(参考) アンケートの回収率



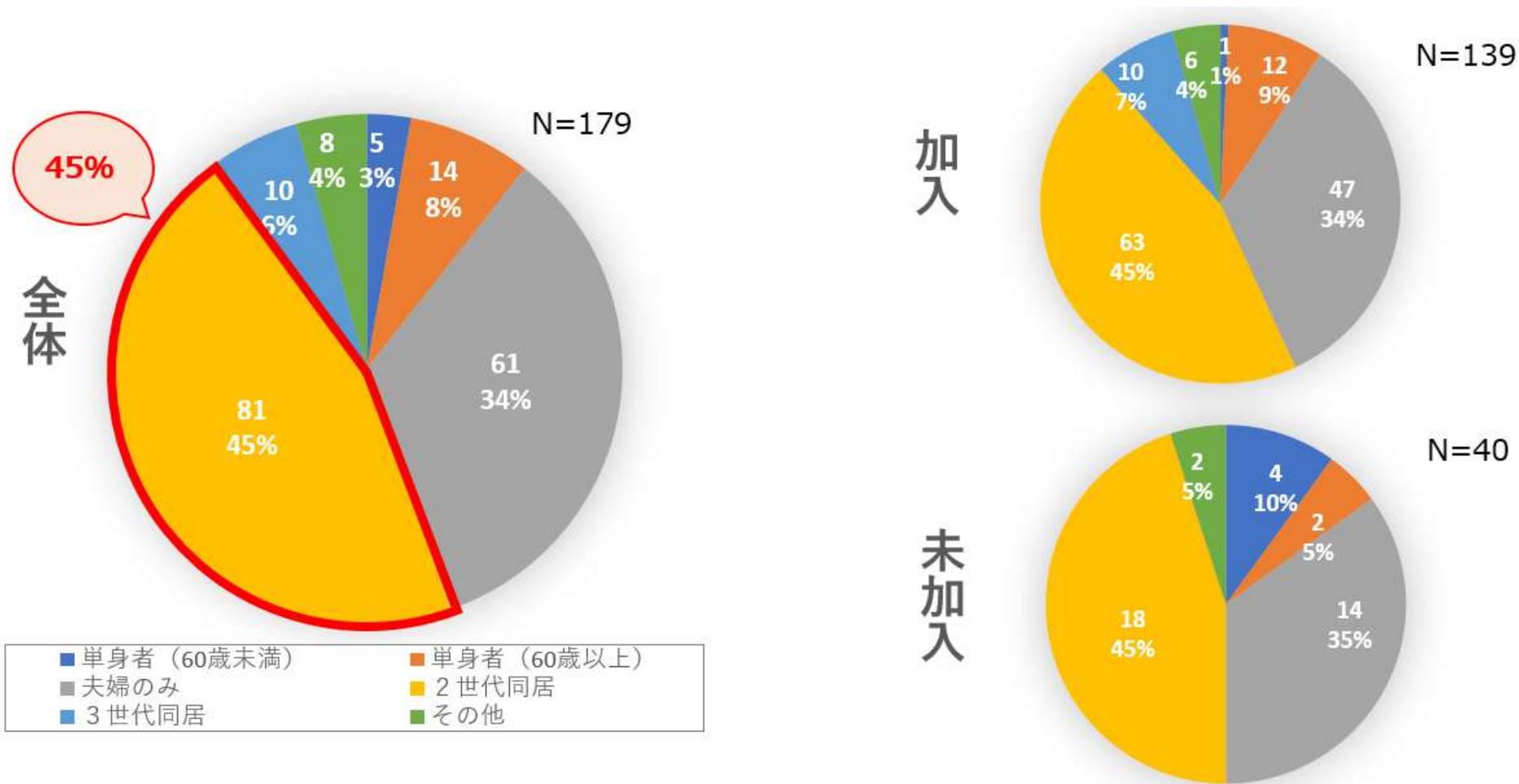
自治会未加入世帯は、若年世代が多い (～50代世帯の回答 加入：33% 未加入：69%)

アンケート回答者属性：居住年数（自治会加入・未加入）



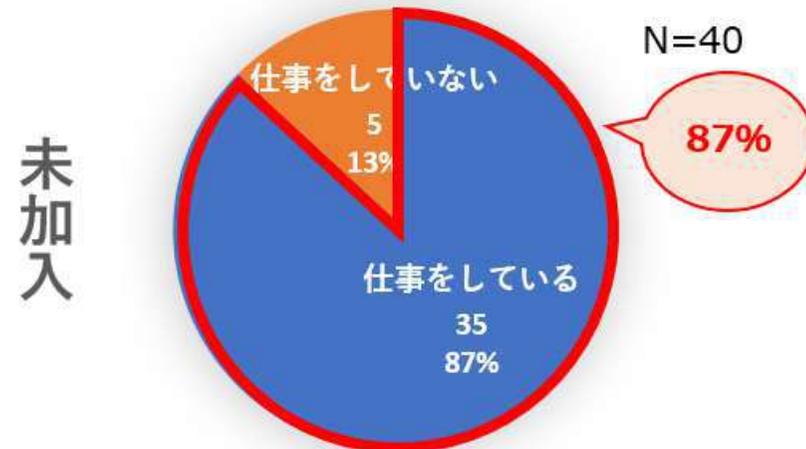
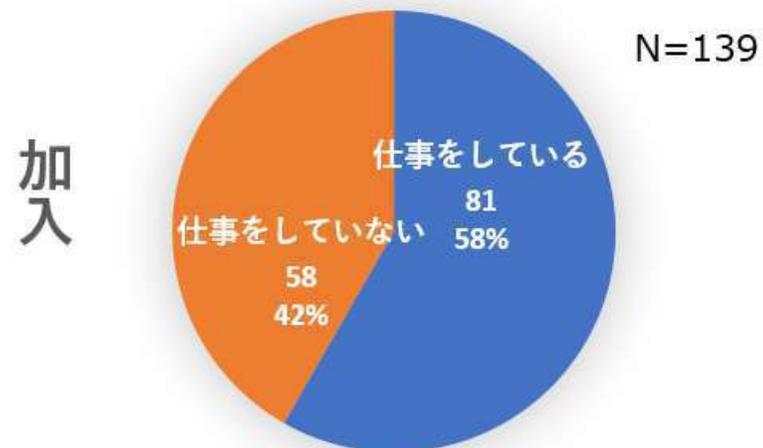
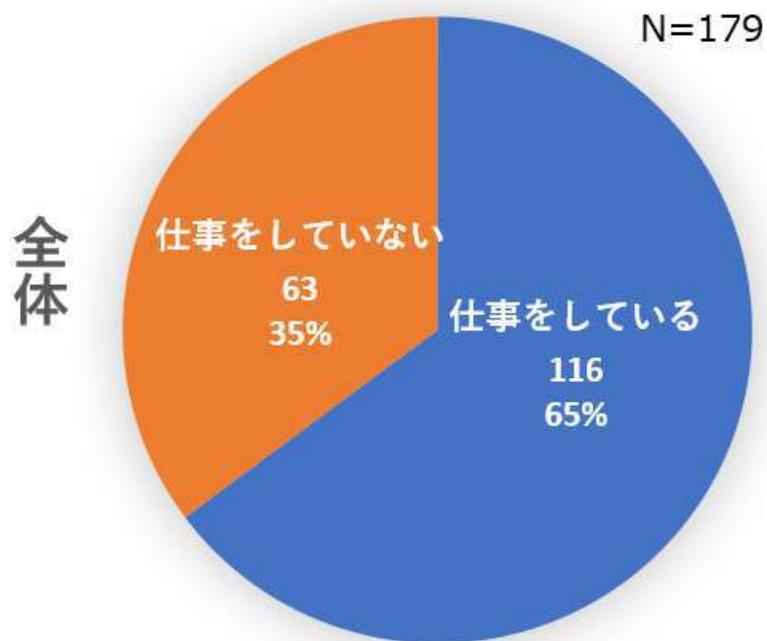
自治会未加入世帯は、居住年数10年未満が多い
 （居住年数10年未満世帯の回答 加入：12% 未加入：40%）

アンケート回答者属性：世帯構成（自治会加入・未加入）



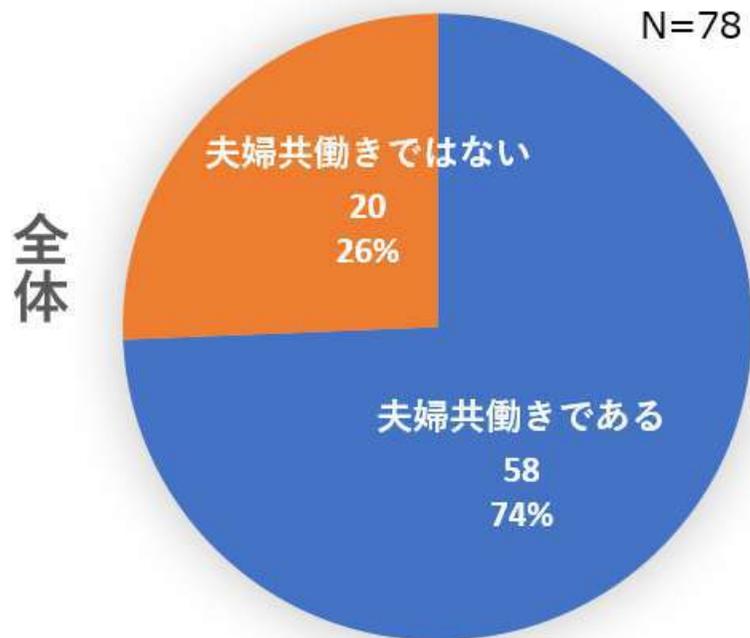
自治会加入・未加入での違いはない。最も多い回答は、2世帯同居世帯の45%

アンケート回答者属性：本人の仕事有無（自治会加入・未加入）

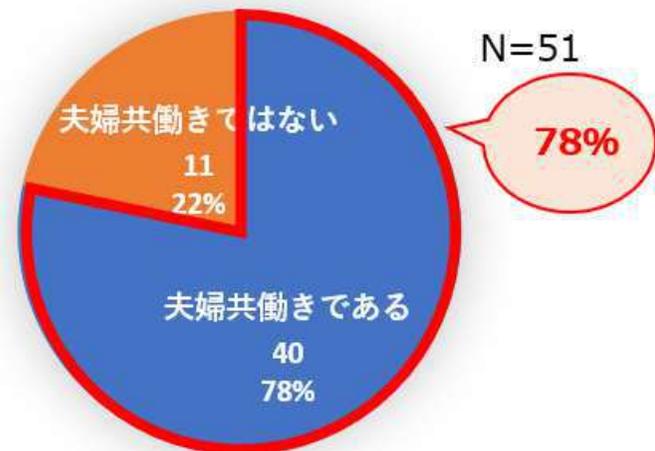


自治会未加入世帯は、仕事をしている世帯が多い。
(仕事をしている世帯からの回答 加入：58% 未加入：87%)

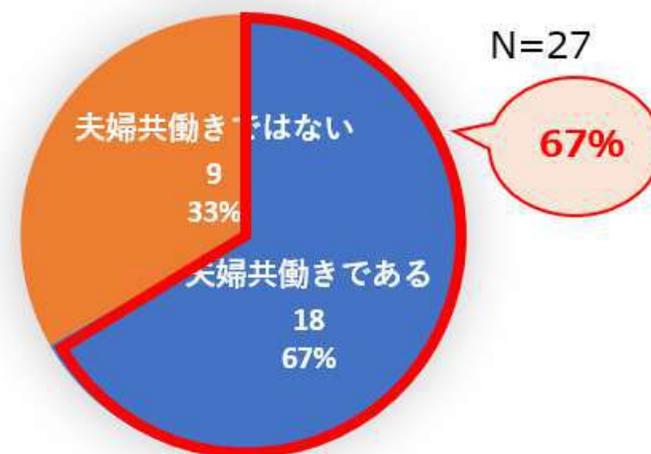
アンケート回答者属性：配偶者の仕事有無（自治会加入・未加入）



加入



未加入

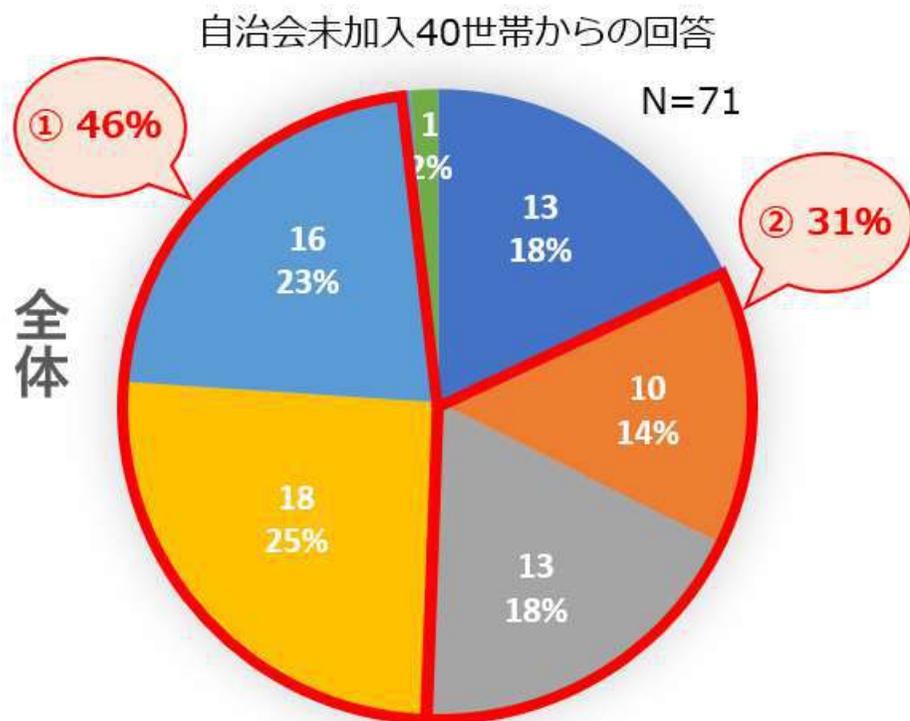


※114世帯のうち、未回答36世帯は除く

自治会加入・未加入に関わらず、共働き世帯が多い
(共働きであるの世帯の回答 加入：78% 未加入：67%)

1)自治会加入に対する考え方、 活動の理解とコミュニケーション

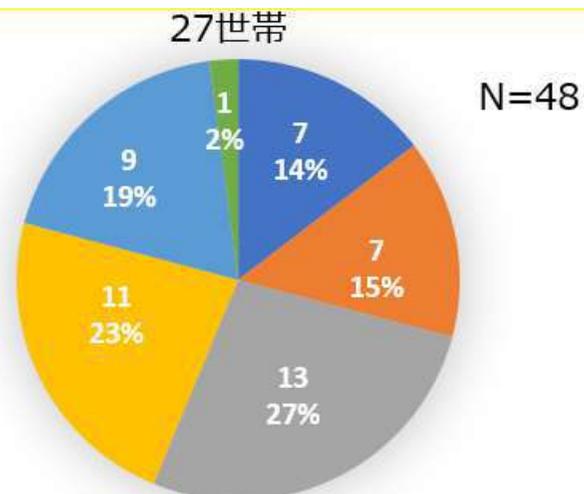
アンケート結果集計：未加入理由（自治会未加入、中途脱会）



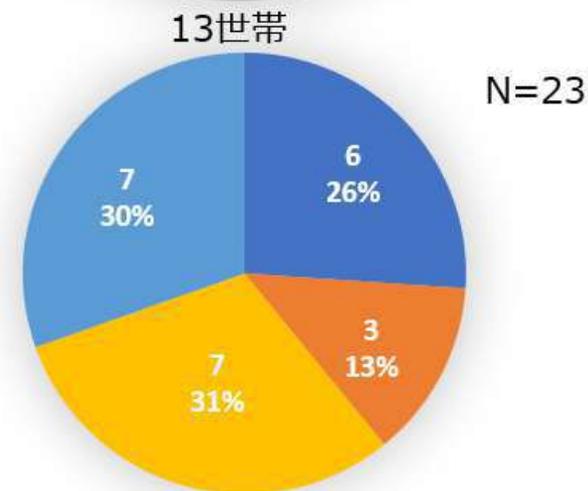
- メリットがない
- 案内されたことがない
- 運営や役員を務めたくない
- 活動内容が分からない
- 時間がない
- 会費が高い

※複数回答あり

未加入



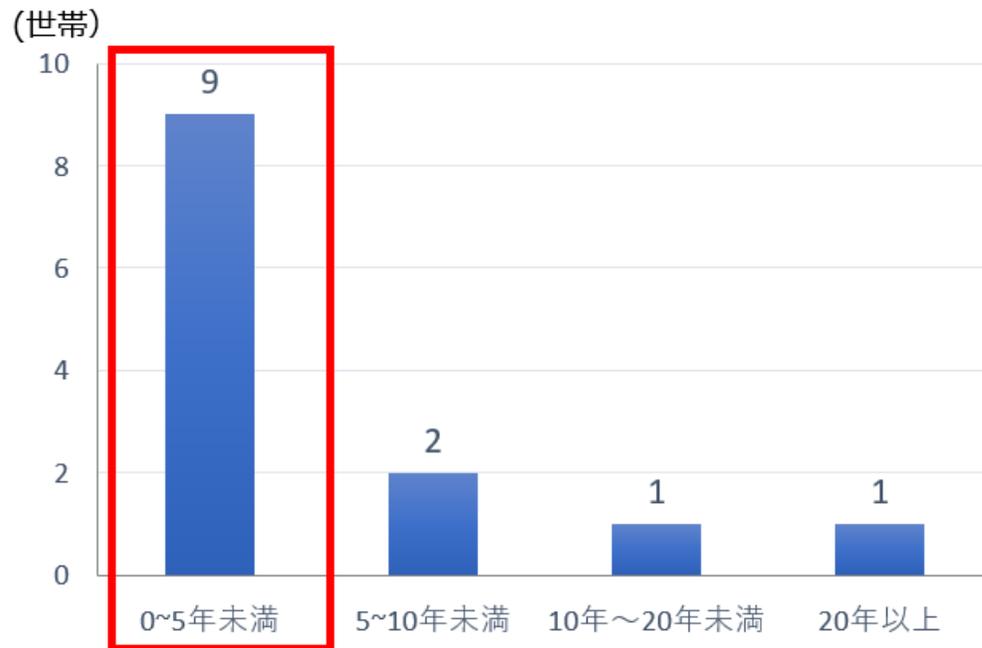
中途脱会



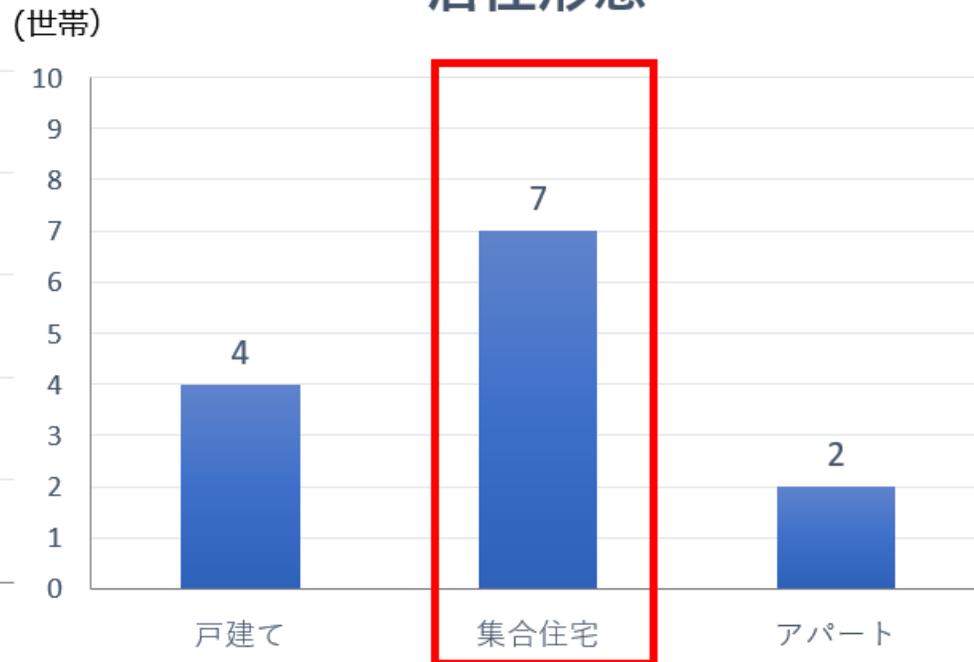
- ① 「時間がない」「運営や役員を務めたくない」が46%、
- ② 「活動内容がよく分からない」「案内されたことがない」が31%の回答あり

アンケート結果集計：自治会未加入理由（案内されたことがない）

居住年数

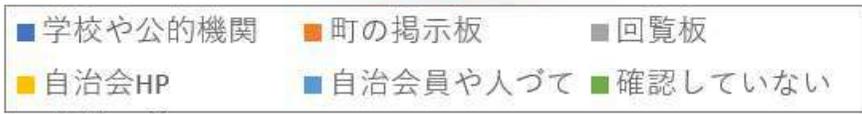
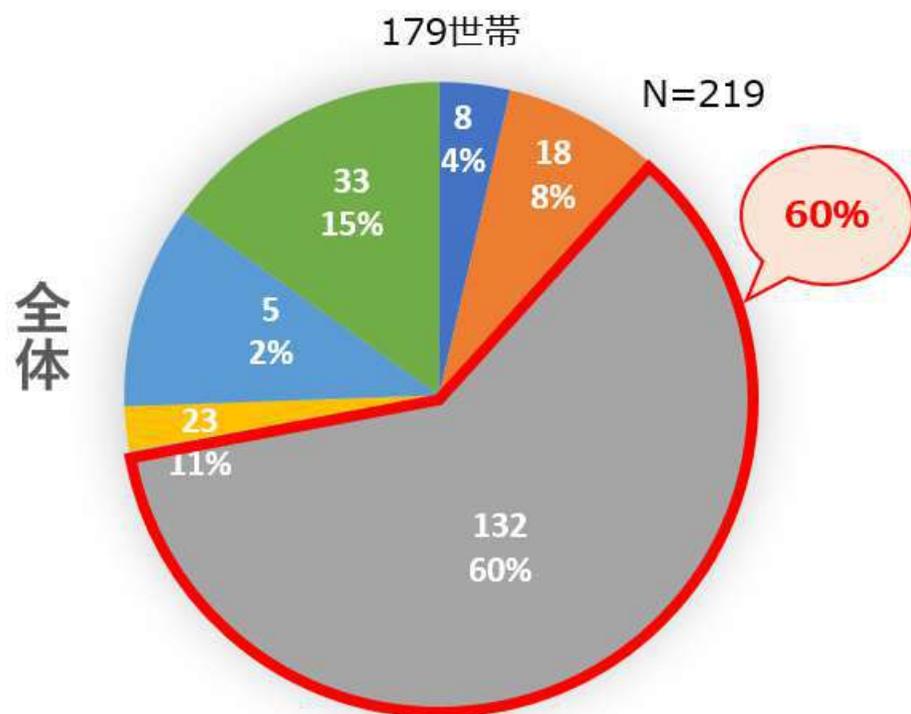


居住形態



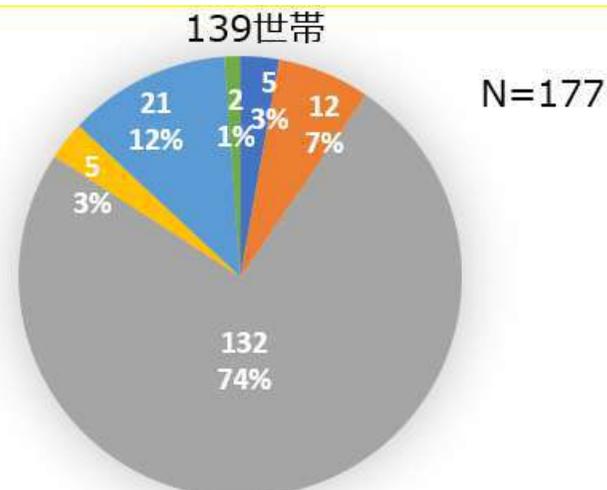
特に、新しく南新井地区に居住した世帯や集合住宅の世帯に対して、加入案内できていない

アンケート結果集計：活動・イベントの確認方法（現在）

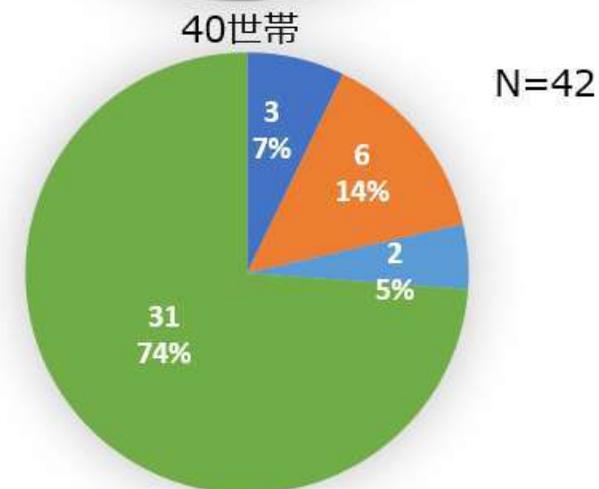


※複数回答あり

加入

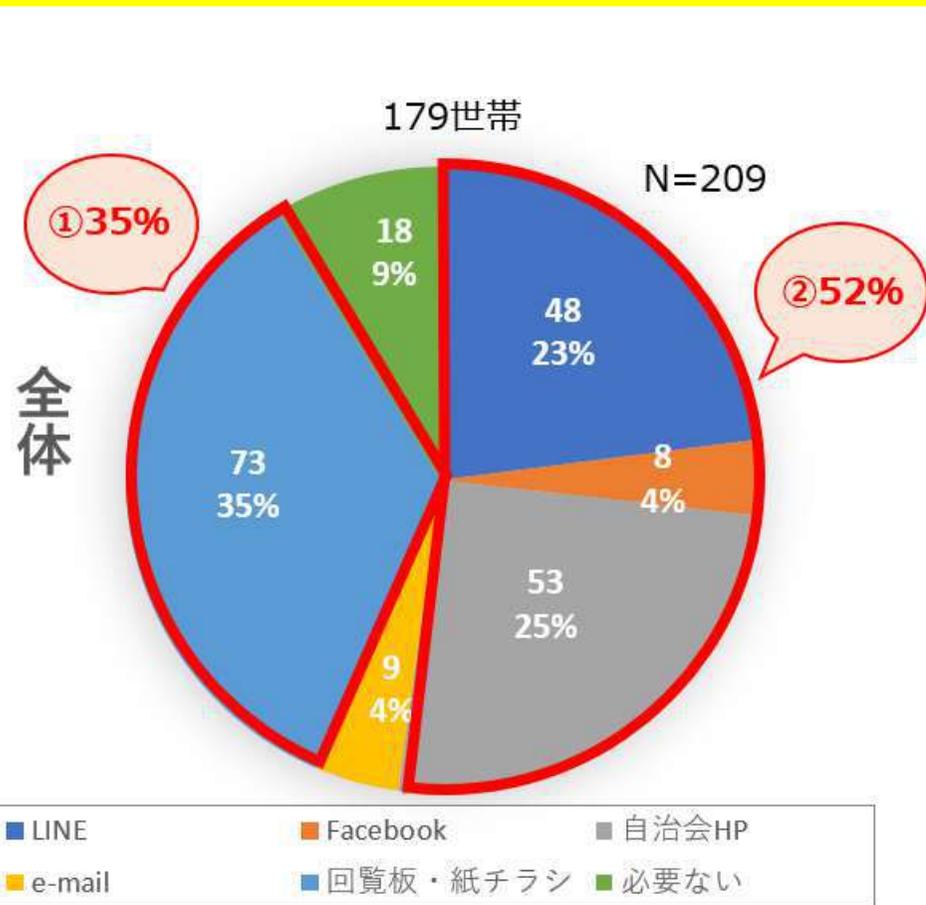


未加入

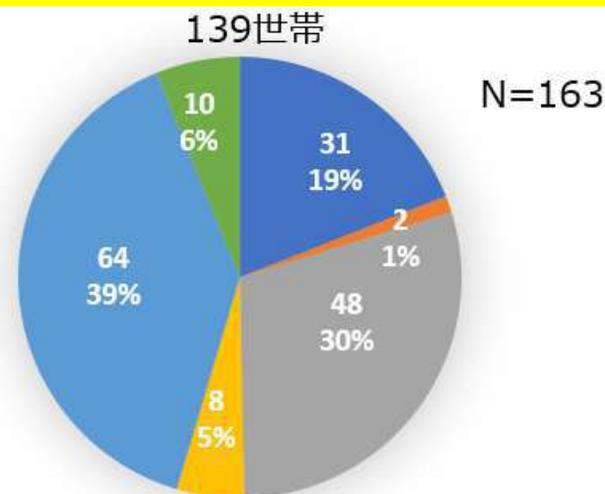


主なコミュニケーションツールである「回覧板」が60%を占める

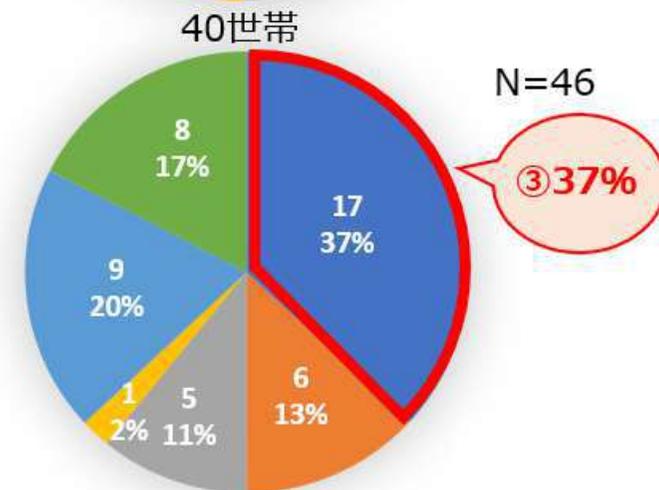
アンケート結果集計：活動・イベントの確認方法（今後）



加入



未加入

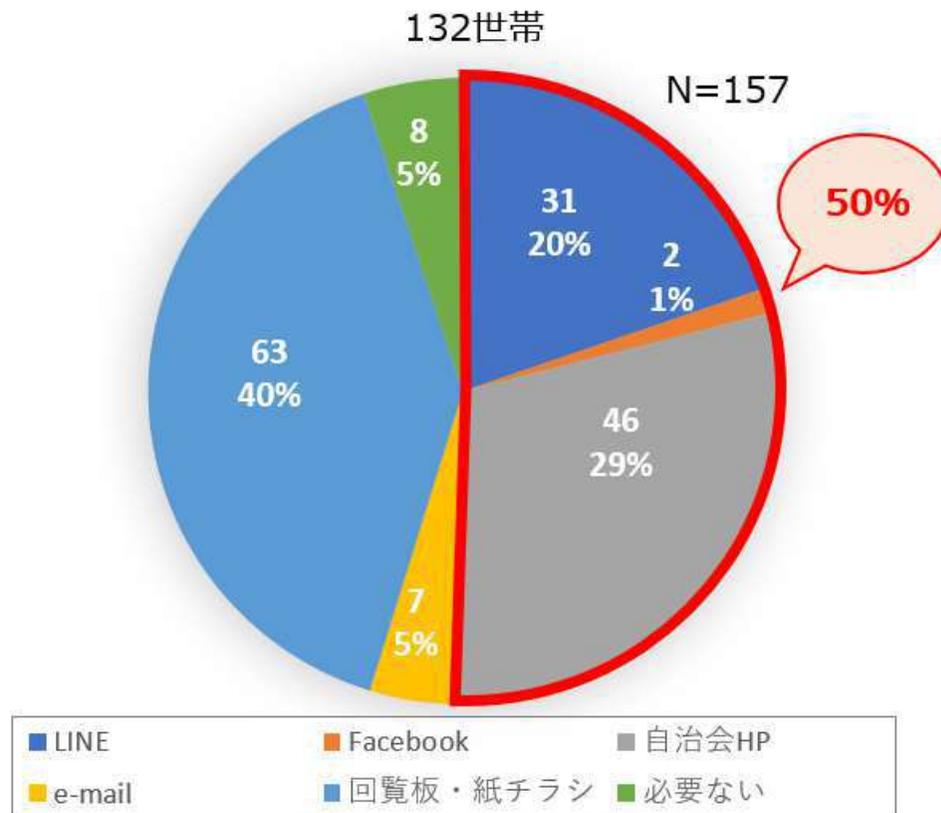


※複数回答あり

- ① 掲示板やチラシで入手したい人が35%と最も多い
- ② 一方、「LINE」「Facebook」「自治会HP」で確認したい世帯も52%と多い
- ③ 自治会未加入世帯も、活動・イベントを確認したいニーズは高く、「LINE」が37%と最も多い

アンケート結果集計：活動・イベントの確認方法 (今後・回覧板選択世帯)

現在の活動・イベントの確認方法で「回覧板」を選択した世帯の回答



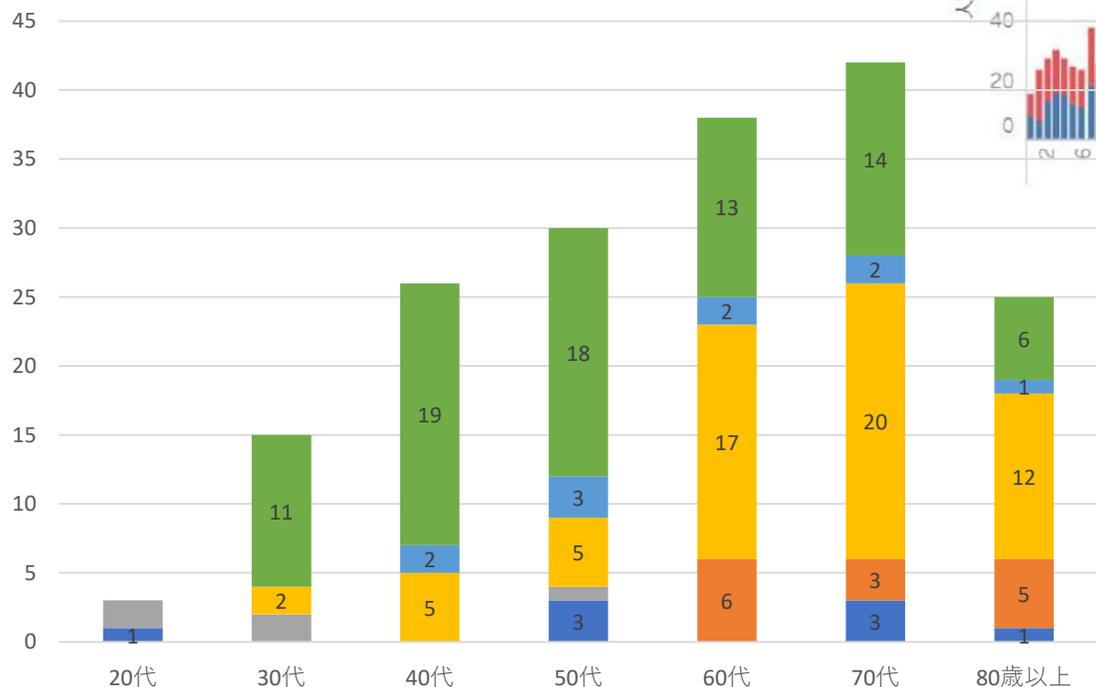
※複数回答あり

「回覧板」を選択した世帯も、「LINE」「Facebook」「自治会HP」を50%が選択している

2) 防災活動について

1. 南新井地区の年代別世帯構成の特徴

- 南新井自治会地区には、60代以上の世代に夫婦のみまたは単身者世帯の割合が高い。
- 一方、地域には大学があり大学生単身者（18～23歳）が多く存在すると考えられる。（大字新井地区の人口データ）

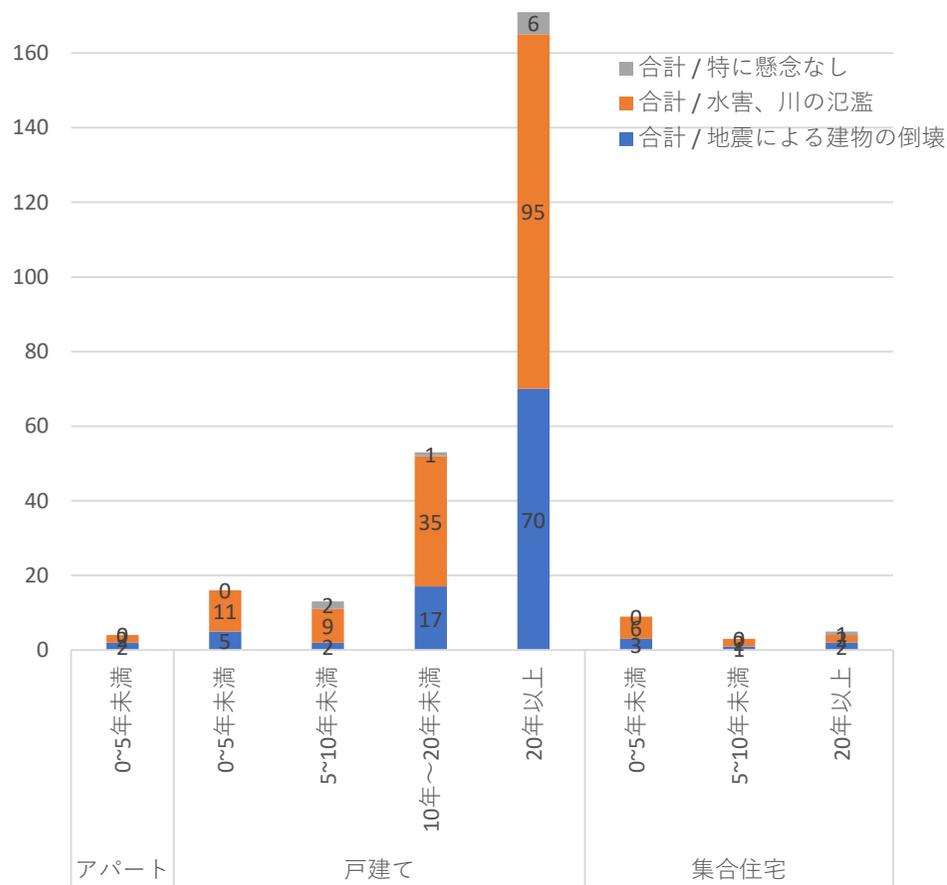


- 2世代同居（子供と両親）
- 3世代同居（子供と両親と祖父母）
- 夫婦のみ
- 単身者（60歳未満）
- 単身者（60歳以上）
- その他

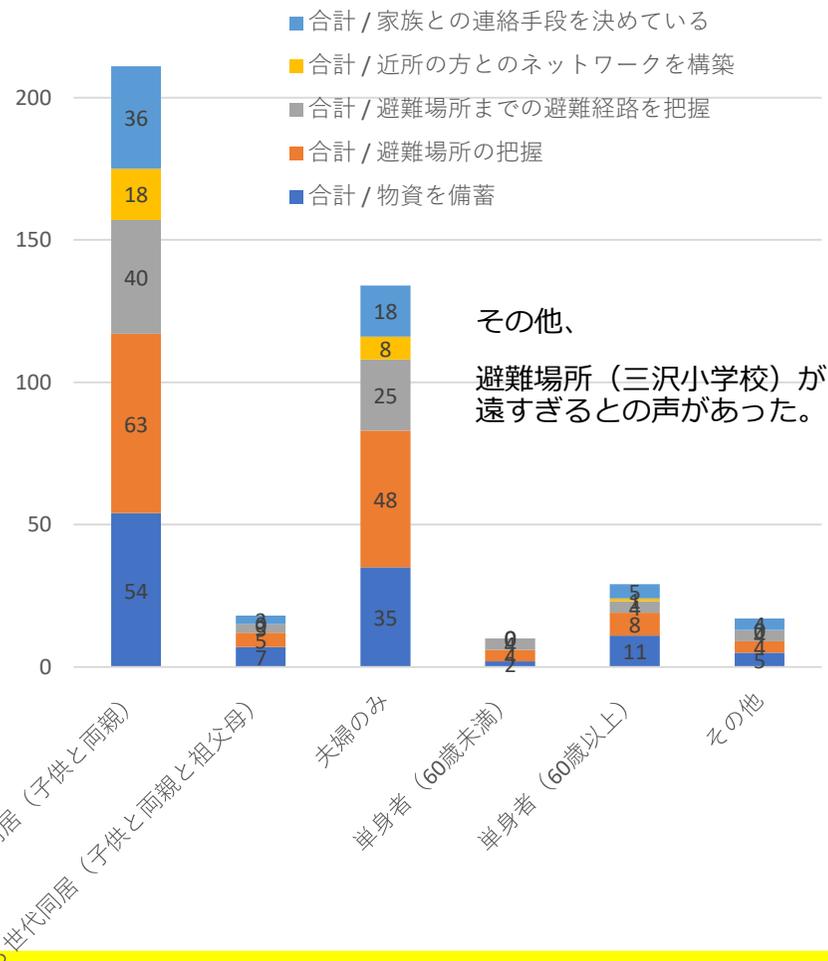
1. 防災 – 懸念される災害と備えの現状

- 水害は、地域住民に共通する懸念であることが確認できた。
- 築年数の長い戸建て住宅には、地震による建物倒壊の懸念も見られる。
- 現状、住民同士の近隣のネットワークは少ない

質問:自然災害について懸念を感じることは?



質問:ご自身で行っている防災への備えは?



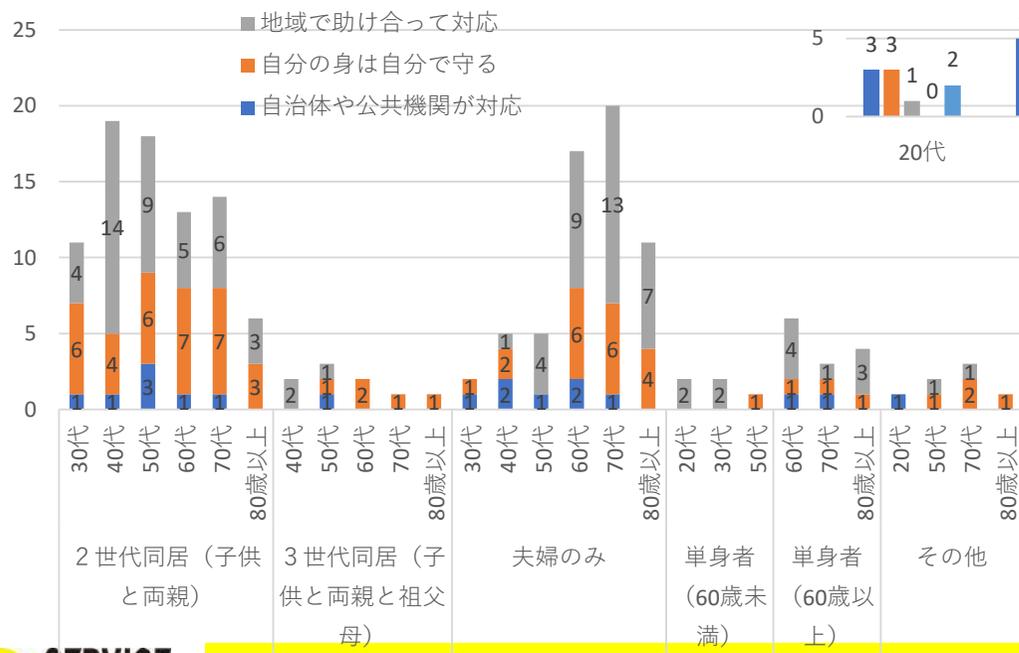
1. 防災 - 災害時対応と自治会/地域共助に対する期待

災害対応には、自助と共助の両方が必要との認識が大半とみられた。

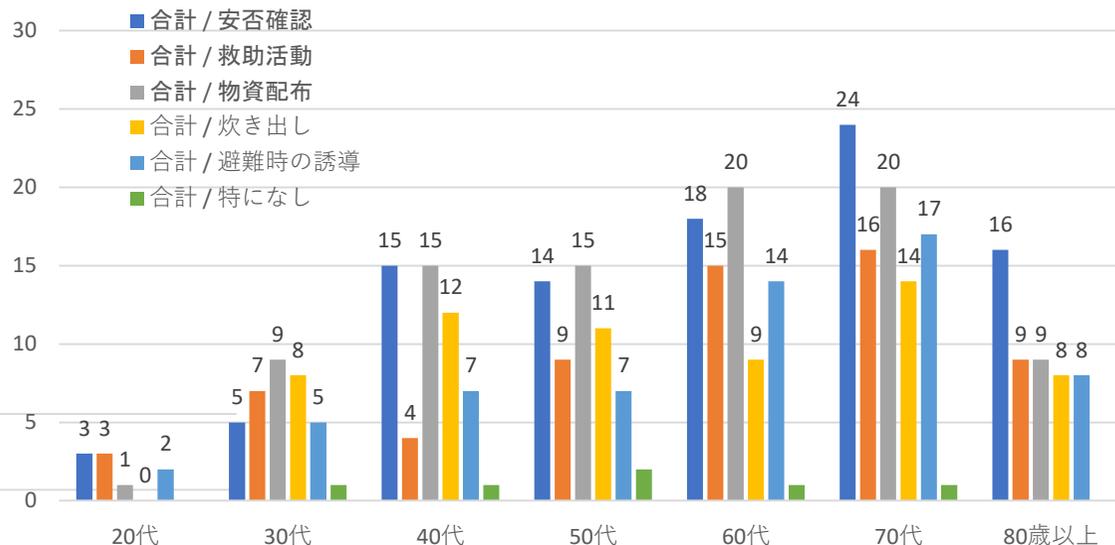
自助を選択した人も、災害時の地域共助に対する期待は高かった。

自治会に加入するメリットがないと回答した人も、うち過半数は地域共助を選択した。

質問:ご自身の自然災害対応の考え方は？



質問:災害時に自治会活動に期待するものは？

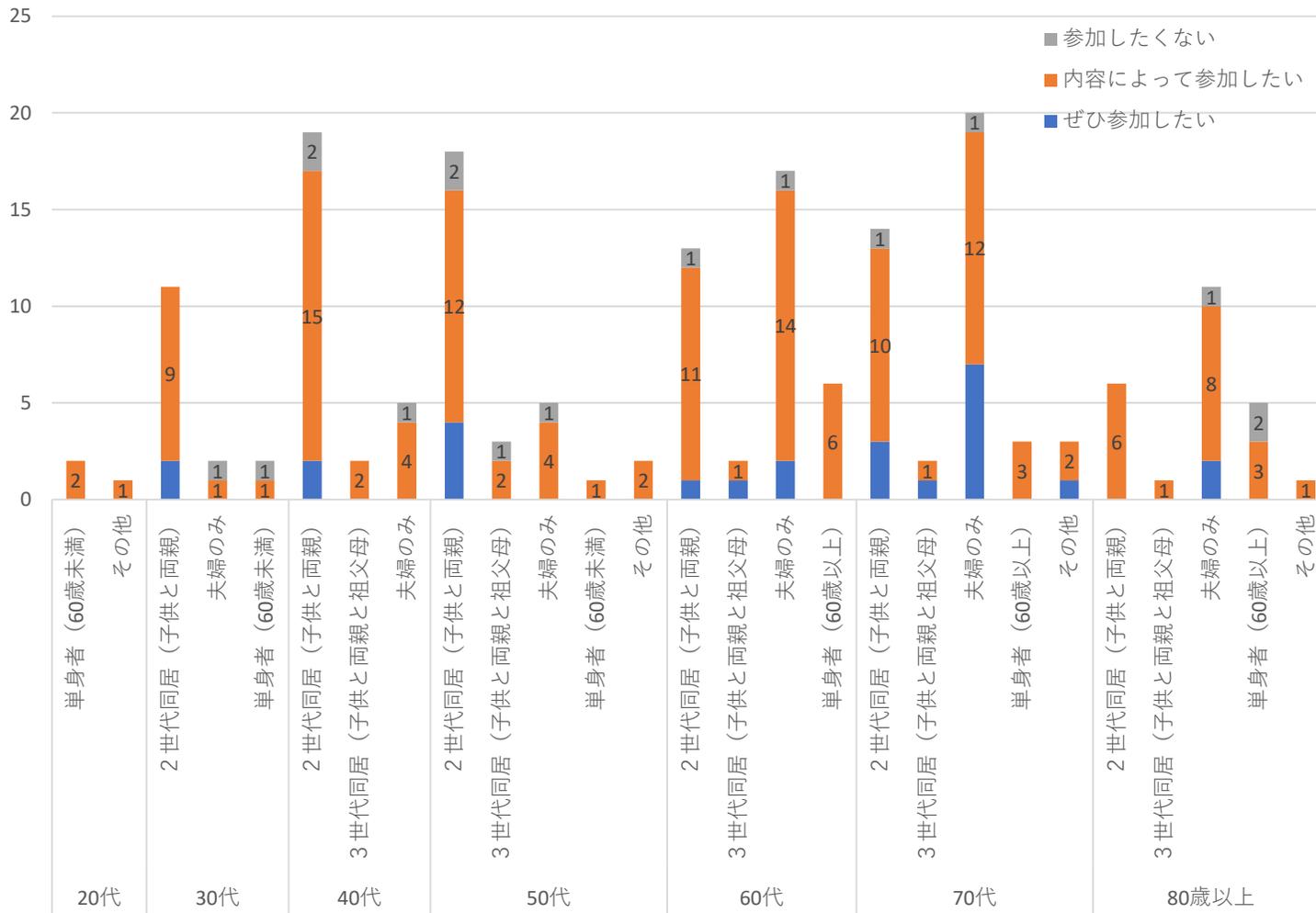


自治会/地域の共助への期待は高く、以下の傾向が見られた：

- ①安否確認
- ②物資配布
- ③避難時の誘導、救助活動は高齢者世代に多い
- ④炊き出しは若い世代の割合が高い

1. 防災 - 地域の防災関連イベント/活動への参加意思

質問:災害対策をテーマとしたイベントに参加したいと思いますか？



自治会会員・未会員に関わらず、防災関連イベントへの期待と参加意欲は大変高い。

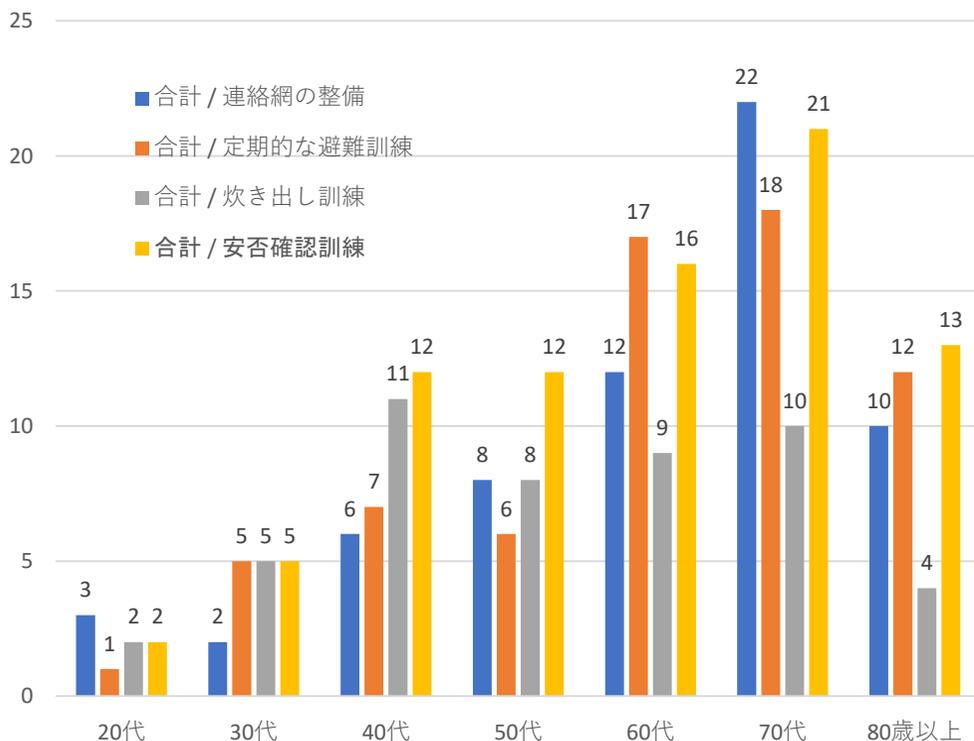
参加したくない理由は

- 高齢/体調による
- 時間がない/忙しい
- コロナが落ち着くまで
- 面倒だから

1. 防災 - 参加したい防災関連イベント/活動

質問:防災関連イベント/活動として参加したいもの、またどんな活動があるとよいか？

- 安否確認訓練（連絡網の整備も含め）は全体的に最も関心が高い
- 炊き出しは若い世代の割合が高い
- また定期的な訓練の必要性も認識されており、地域の実情に即して必要な備えについて学び、実践的な訓練をしたいとの希望

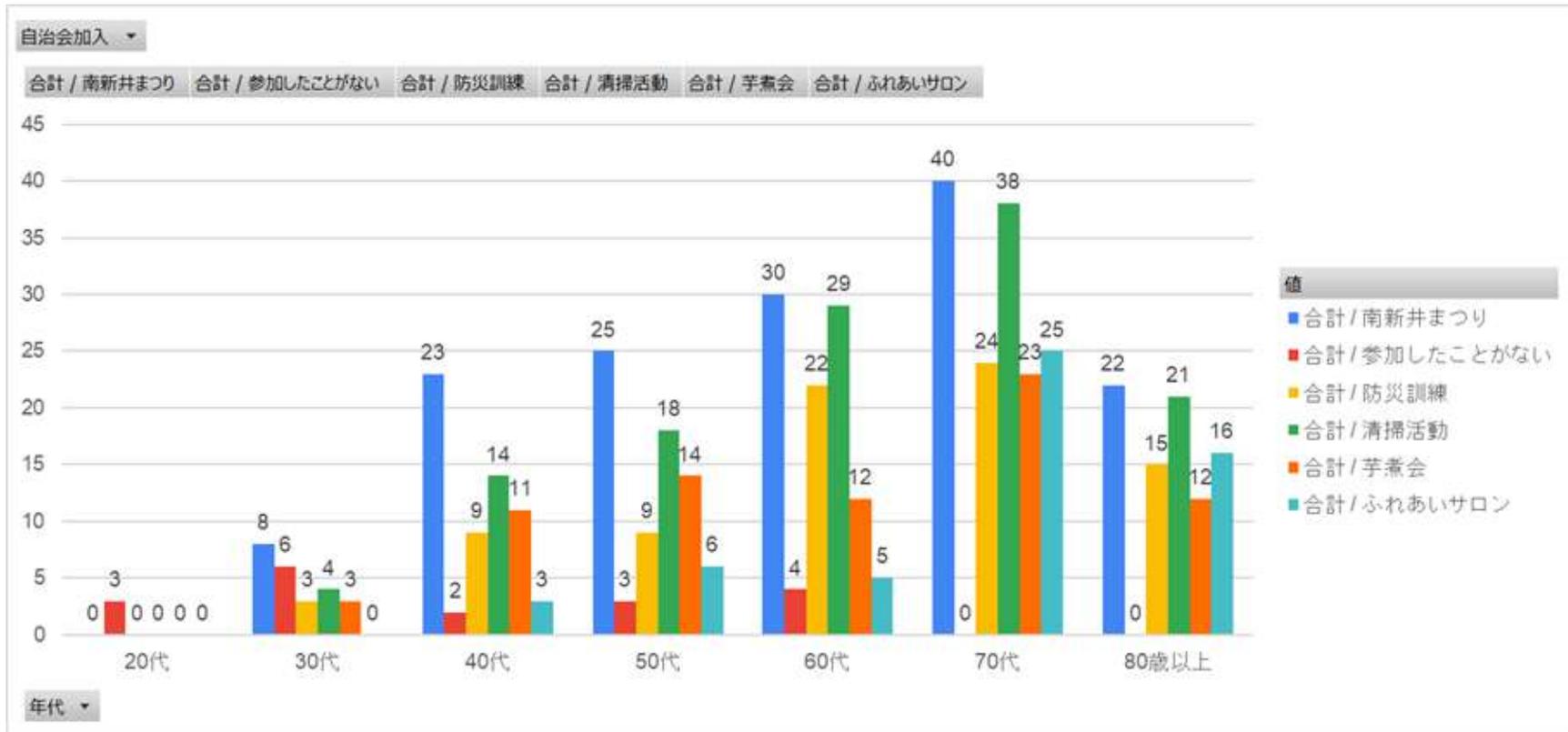


年代	その他希望する内容
30代	この地域で起こりうる災害についての学習会 避難所の運営訓練・物資等の見直し
50代	機能的班分けによる実践的な避難訓練。避難所へみんなで移動するだけの訓練は無意味。 備蓄しておく便利なものなどの説明
60代	町会合同訓練→避難所の小学校で 避難所での個別居所の明確化
70代	水害から声明を守るための具体的（南新井地区に即した）な話を専門家から聞く 的確な情報の伝達手段と収集方法

3) その他のイベントについて

1. アンケート結果：イベント

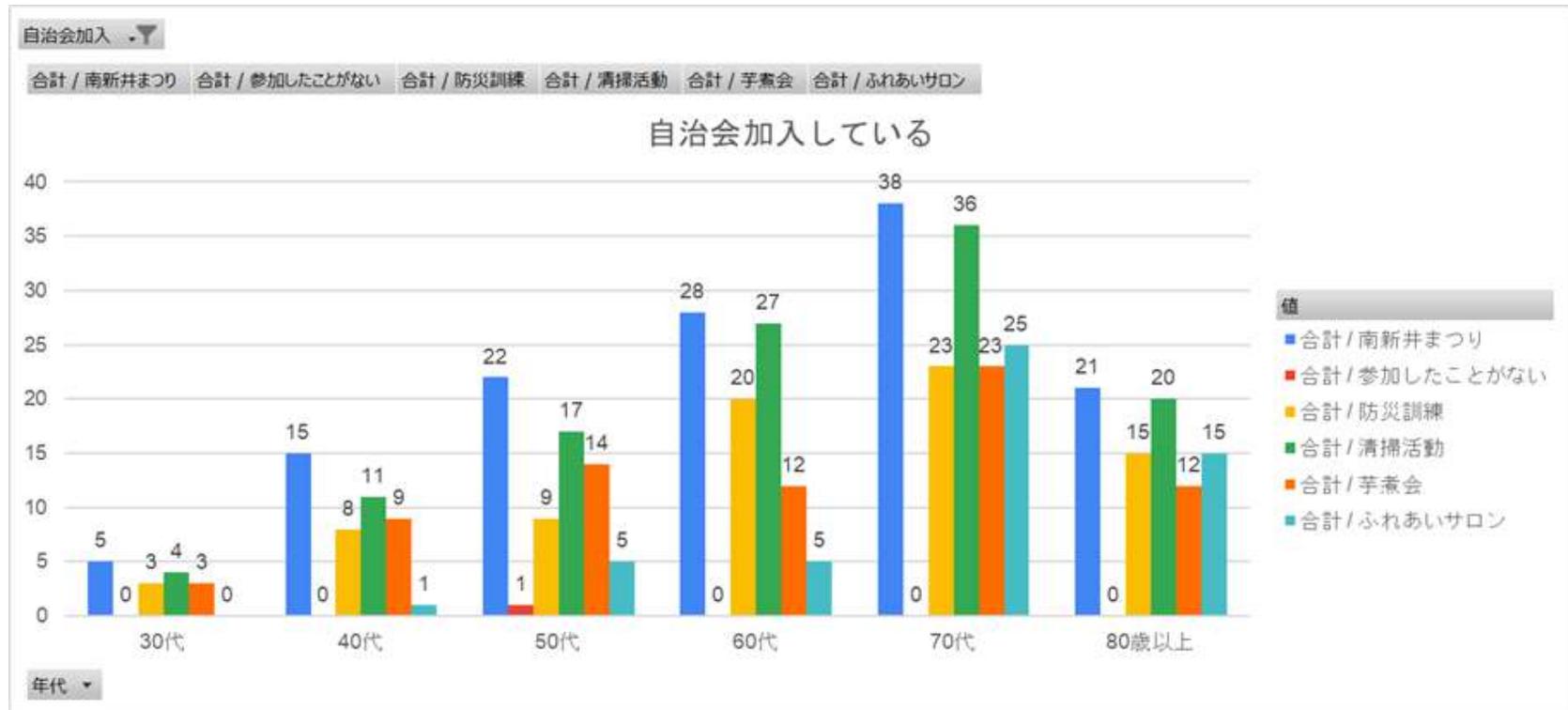
Q：自治会イベントや活動で参加したことがあるものはどれですか？



年齢別に最も参加したことが多かったイベントについて、「南新井まつり」が一番でした。ついで「清掃活動」「防災訓練」「芋煮会」「ふれあいサロン」という順になっています。年齢別に見てもどの年代「南新井まつり」が最も多い結果。

1. アンケート結果：イベント

Q：自治会イベントや活動で参加したことがあるものはどれですか？
【自治会加入している/していない】

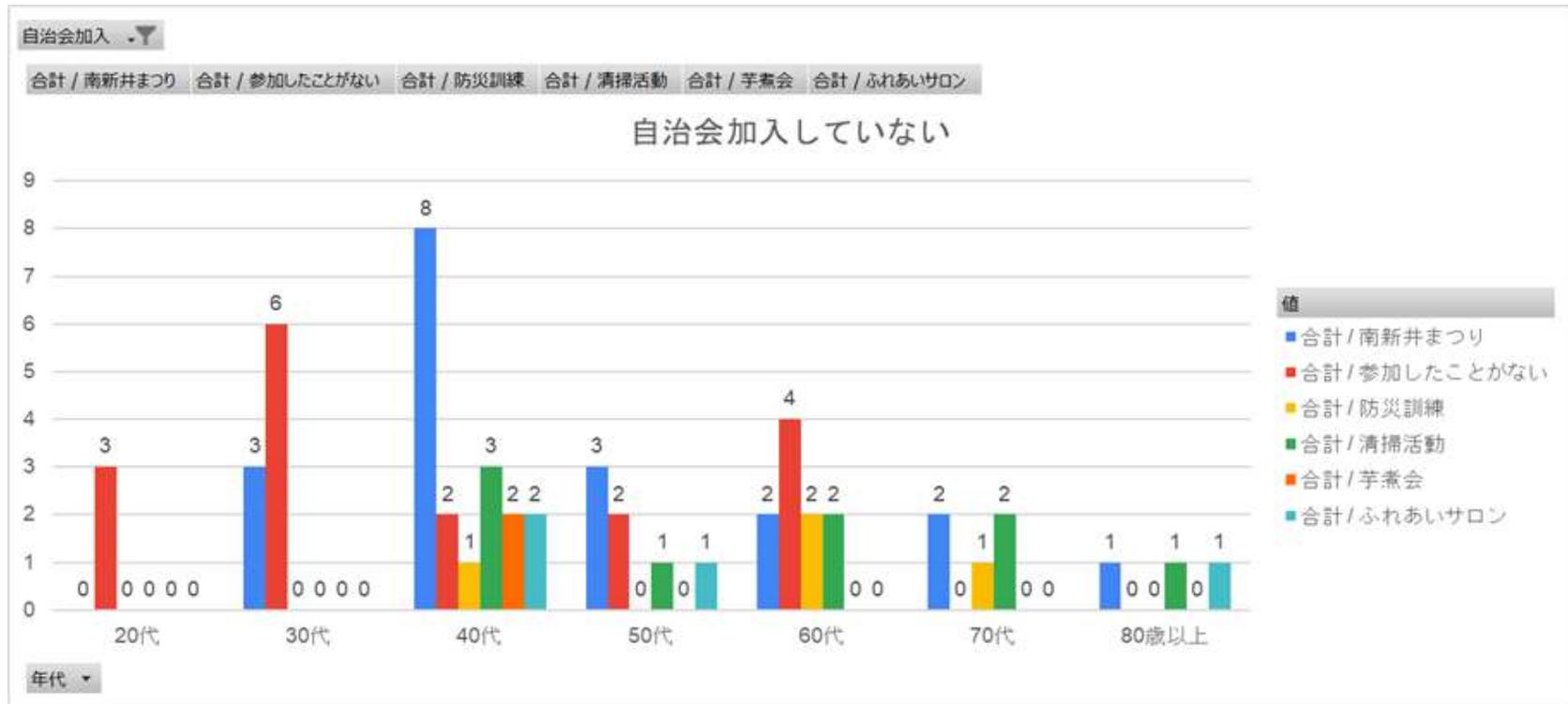


自治会加入している方は「南新井まつり」が一番多くなっています。ついで「清掃活動」「防災活動」「芋煮会」「ふれあいサロン」となっています。

その他・・・バス日帰り旅行・総会

1. アンケート結果：イベント

Q：自治会イベントや活動で参加したことがあるものはどれですか？
【自治会加入している/していない】

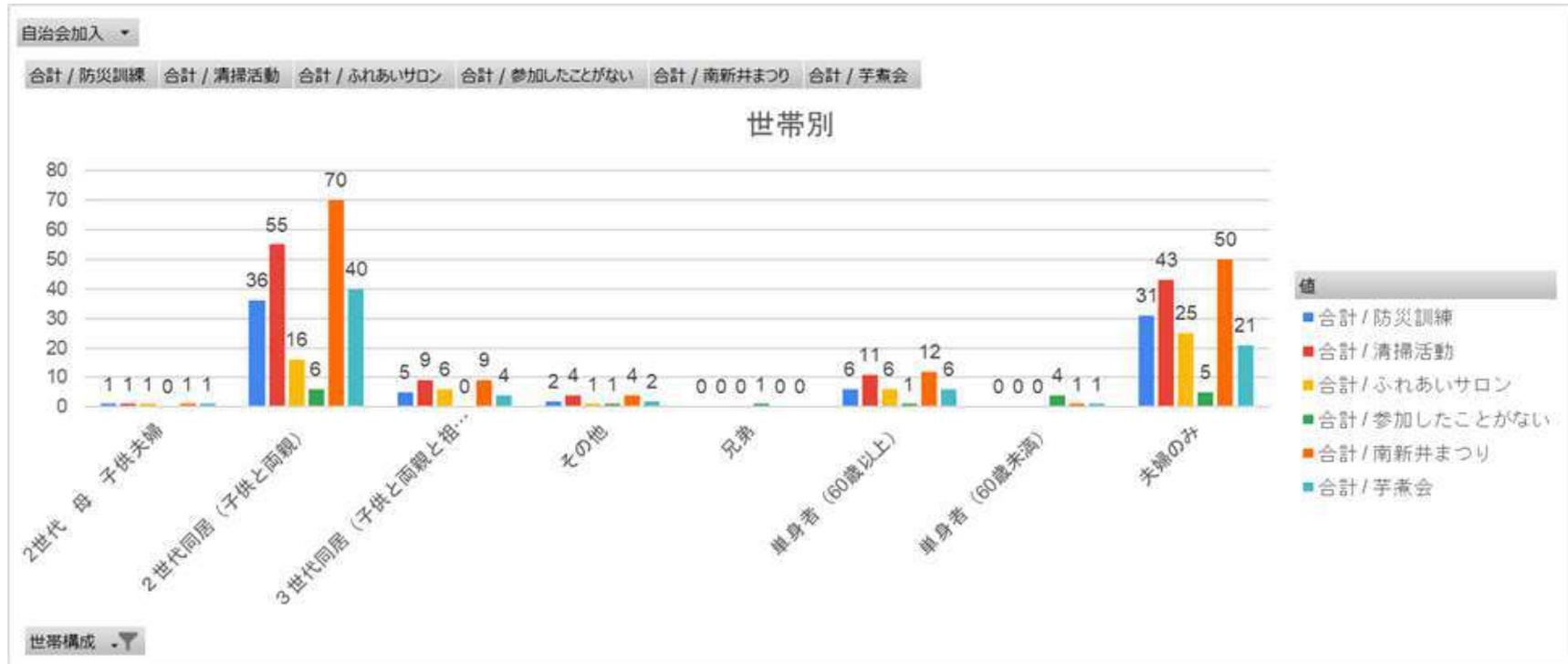


自治会加入していない20代・30代は「南新井まつり」以外は「参加したことがない」となっています。

20代・30代へのイベント周知は必要と思われます。

1. アンケート結果：イベント

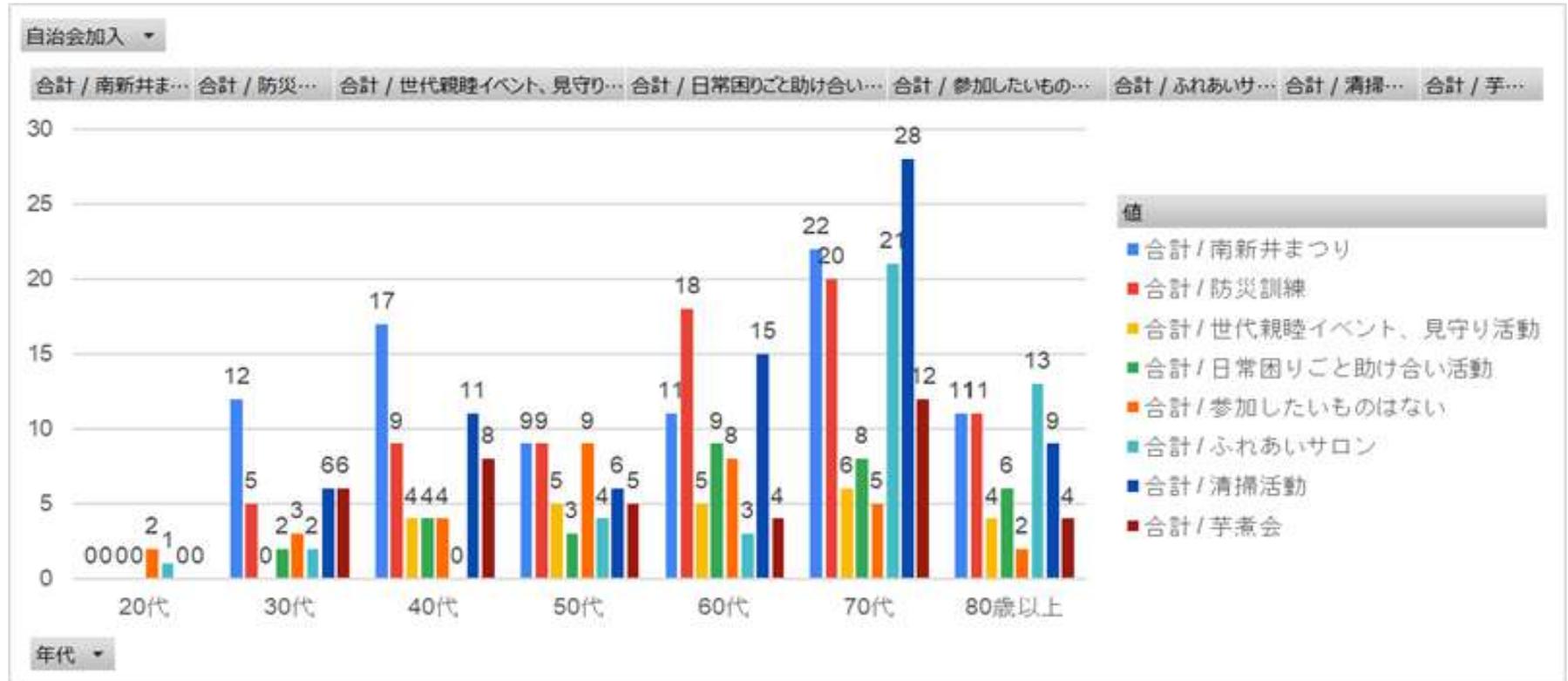
Q：自治会イベントや活動で参加したことがあるものはどれですか？
【世帯別】



世帯別では「2世代同居 (子供)」での「南新井まつり」の参加が最も多い傾向です。ついで「清掃活動」「芋煮会」となっています。

1. アンケート結果：イベント

Q：イベントや活動で参加したいと思うものはどれですか？



参加したいと思うイベントは「南新井まつり」が最も多い結果です。ついで「清掃活動」「防災訓練」となっています。年代別ですと70代・80代は「清掃活動」「ふれあいサロン」が多く、30代・40代は「南新井まつり」に参加したい傾向。年代により違いがあります。

1. アンケート結果：イベント

Q：イベントや活動で参加したいと思うものはどれですか？

その他・・・

50代：防災訓練よりも、いざ大地震が来たときなどの対応などを前もって話し合うなどしておくべきなのでは？

50代：ハロウィンで子供たちと一緒に地域を回る

60代：防犯パトロール

30代：交流会

50代：子供が参加できるイベント（餅つき、神輿、山車等）

80歳以上：バス旅行

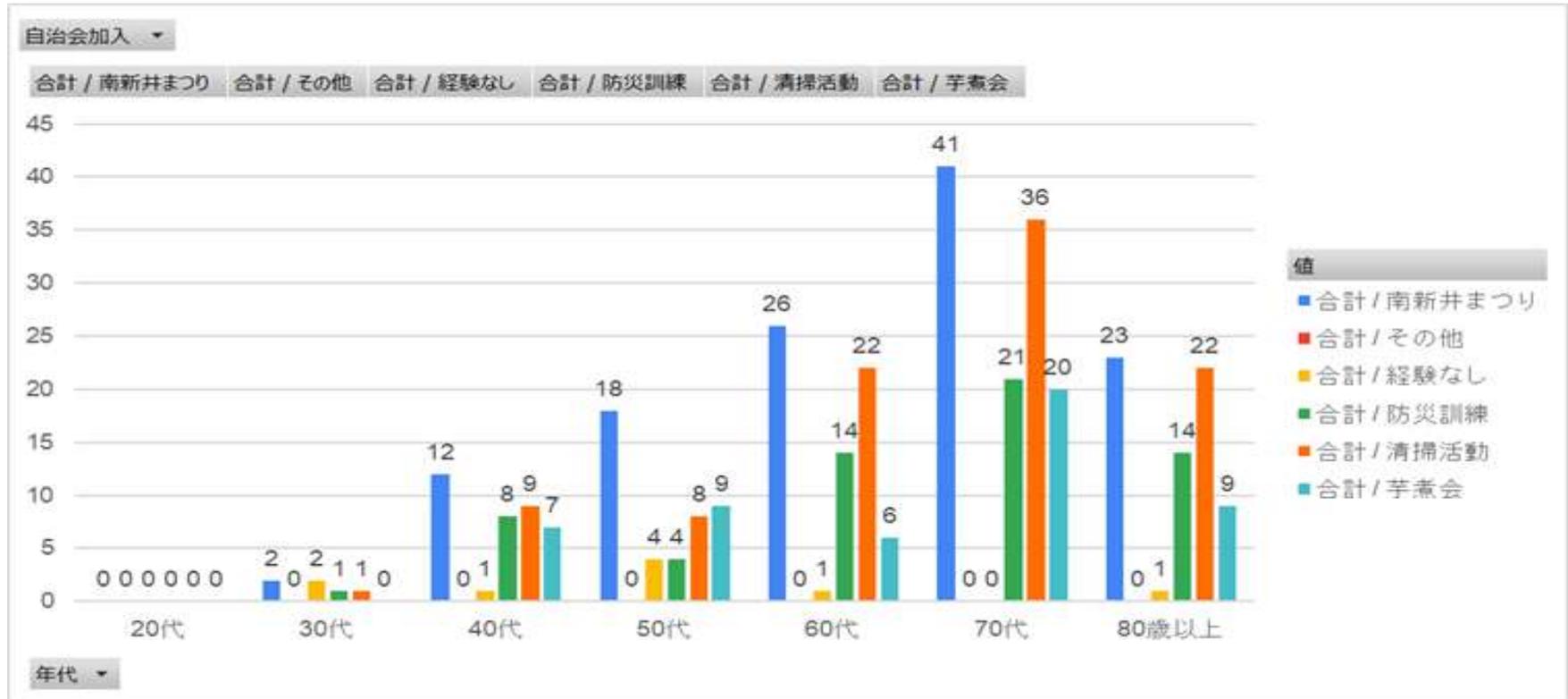
60代：地域での多世代交流と助け合い

70代：フリーマーケット

防災の意識も高く、さまざまなご意見ありました。

1. アンケート結果：イベント

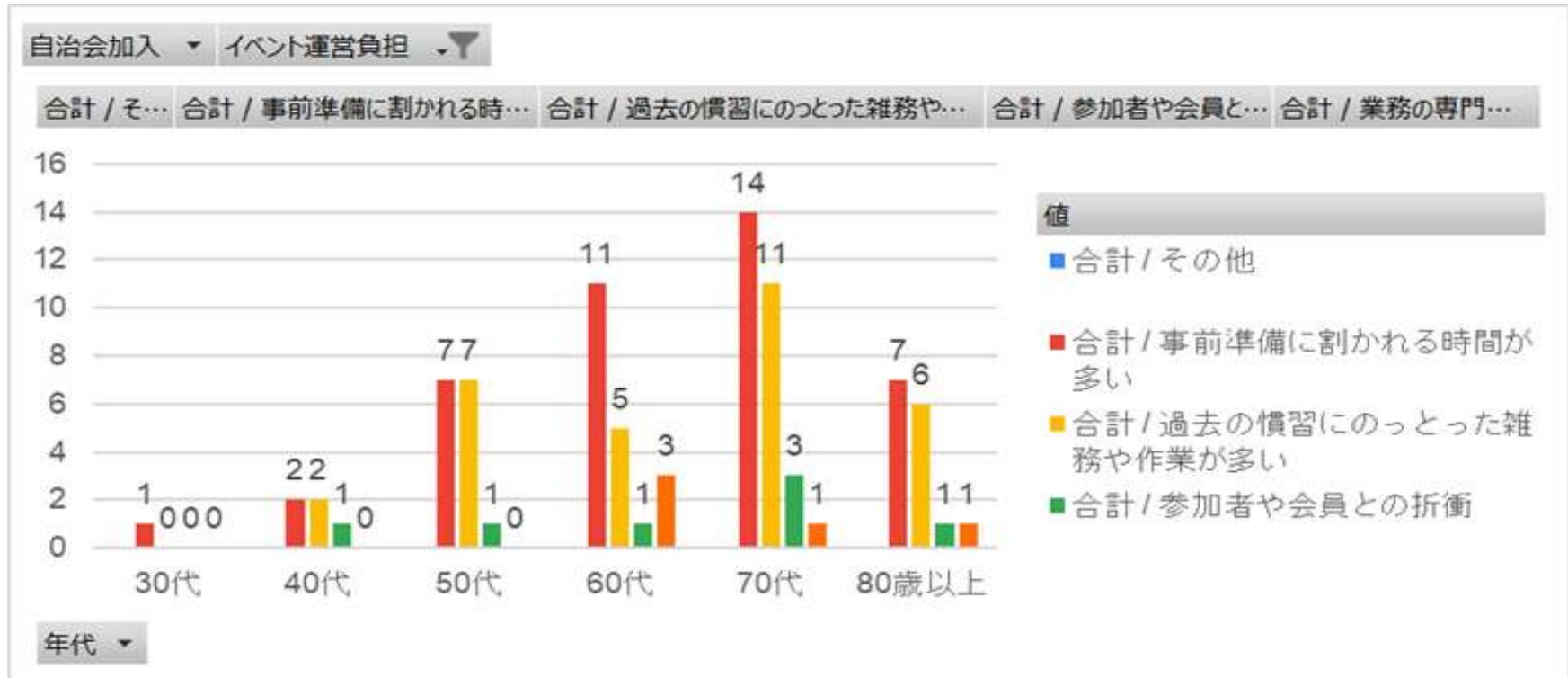
Q：自治会の活動やイベントの運営で経験したものはどれですか？



こちらでも「南新井まつり」が最も多い結果です。ついで「清掃活動」「防災訓練」となっています。その他では日帰り旅行がありました。

1. アンケート結果：イベント

Q：自治会の活動やイベントの運営での負荷について？



「事前準備に割かれる時間が多い」が一番多い結果となりました。ついで「過去の習慣にのっとりた雑務や作業が多い」「参加者や会員との折衝」です。

1. アンケート結果：運営アイデア

Q：自治会の活動やイベントの運営での負荷について？

その他・・・

60代：お祭りでは、会場の設営準備および当日は朝早くからほぼ1日会場にいることとなり、体力・時間への負担が大きい

50代：準備、当日、しめ縄張りなど時間がかかりすぎる

50代：日頃の会議以外に、イベント用に時間を割かなければならない

60代：必ずやらないといけない感じがする

50代：自身の体調が良くないため

70代：個人的に普段の生活が忙しくイベントの準備等において時間が割かれるのは年齢的にも精神面体力面において負担が大きい

60代：内容が練られていないため

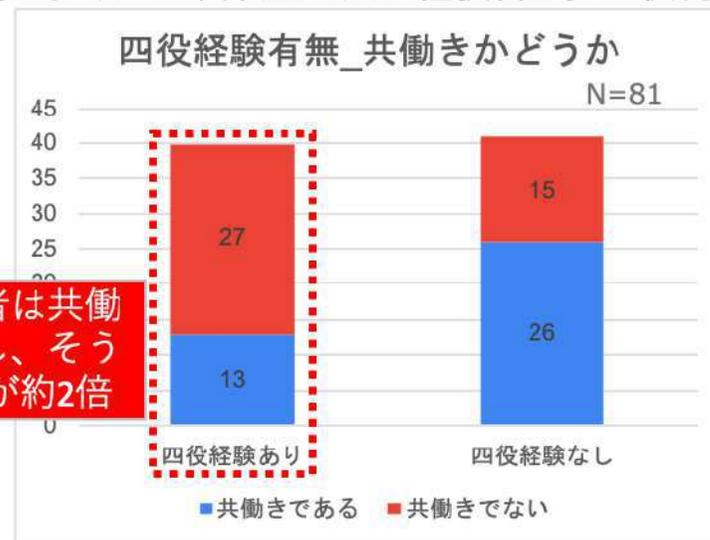
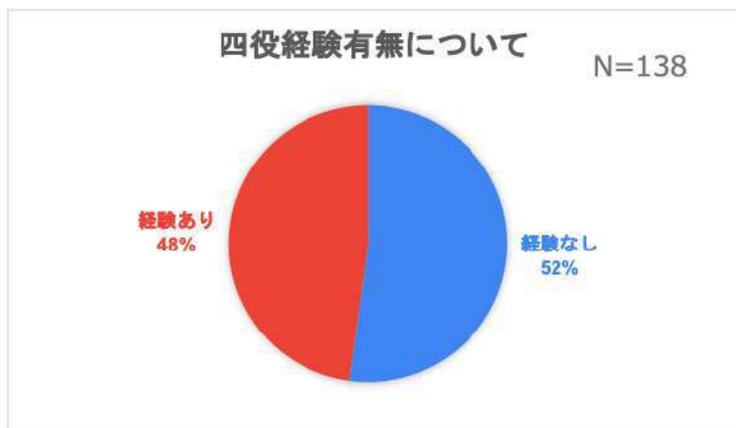
※参加したら出来ることを明確にする！

「防災訓練に参加するとはしご車にのれます」「防災グッズを差し上げます」などなど・・・

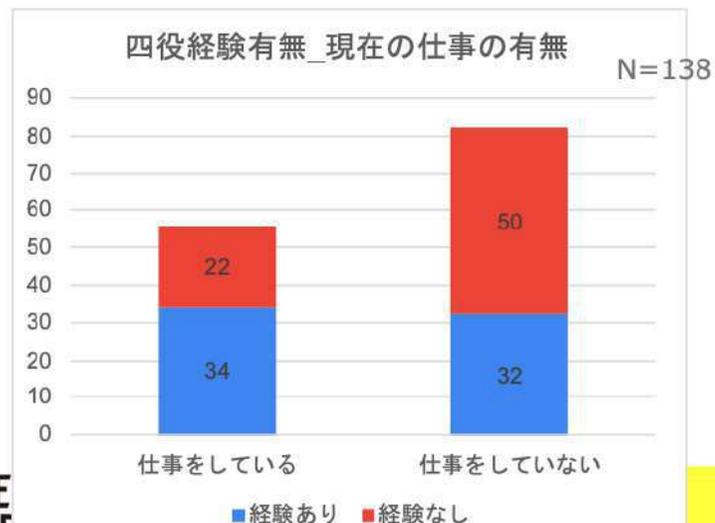
4) 四役・組長の負担について

1. 四役_経験者の属性

- ・今回のアンケート回答者は、四役経験者が48%と半数近くいた
- ・四役経験の有無は仕事をしているかしていないかで大きな差異はない
- ・しかし、共働き世帯の四役経験者はそうではない世帯と比較し少ない傾向がある
- ・年代別にみると、働く世代の30代~50代までの経験者が極端に少なく、70代以上の人に経験者が多い状況となっている



四役経験者は共働きと比較し、そうでない人が約2倍



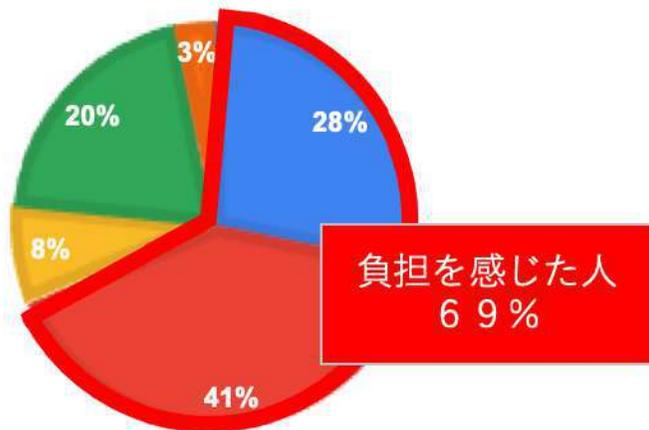
60代から経験者の比率が変化する

1. 四役_負担度合い

- アンケート回答者の**69%**が四役に負担を感じている
- 仕事をしている人の方がしていない人よりも**10%以上多く**負担を感じている人の割合が高かった

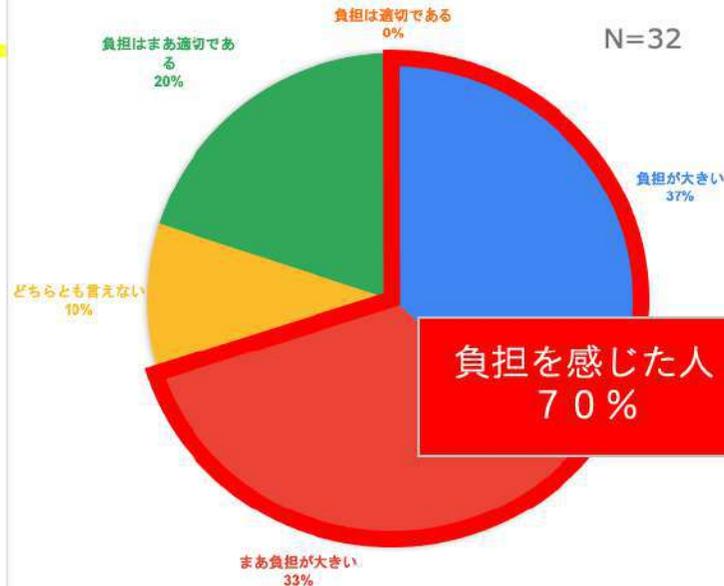
四役の負担度合い N=64

■ 負担が大きい ■ まあ負担が大きい ■ どちらとも言えない
 ■ 負担はまあ適切である ■ 負担は適切である



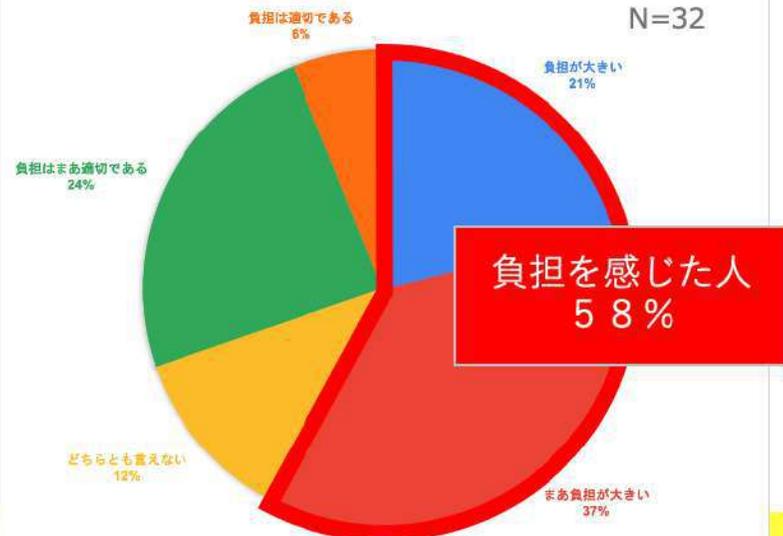
四役経験者 仕事している 負担度合い

N=32



四役経験者 仕事していない 負担度合い

N=32

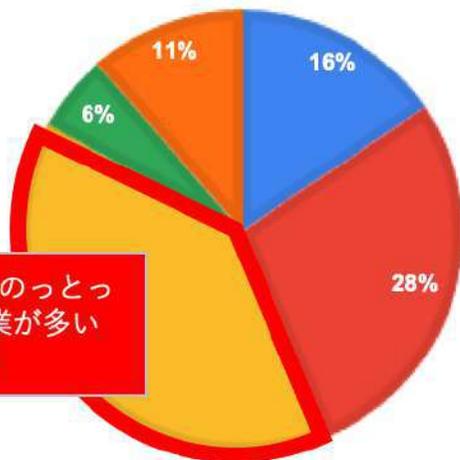


1. 四役_負担に感じる理由

- ・過去の慣習に則った雑務や作業が多いと回答した人が39%と最多だった。
- ・仕事の有無による業務の負荷理由に大きな違いはなかった。
- ・年代別で見ると、50代以下では作業の多さと会議の多さが同等に負荷を感じているが、60代以上になると現在の業務の負荷が比較的高くなっている

四役が負担の理由 N=71

- 業務の専門性が高い
- 会議や定例会等の回数が多い
- 過去の慣習にのっとりた雑務や作業が多い
- 組内の会員との折衝
- その他



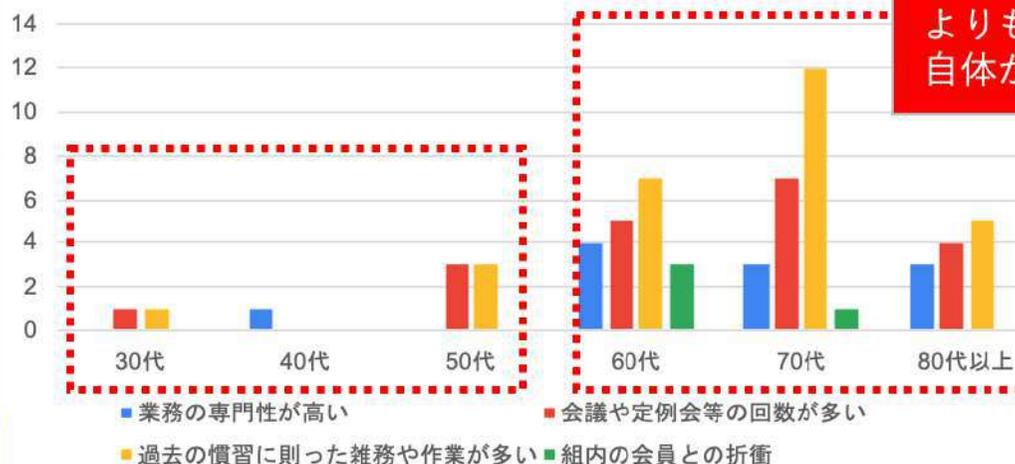
過去の慣習にのっとりた雑務や作業が多い
39%

・四役の皆さまの業務内容について、お伺いさせていただければ幸いです。

その他コメント

- ・お祭りの準備、片付け、会計などが大変
- ・1年という短期間にも関わらず、やる事が多いが引き継ぎ内容が曖昧
- ・活動記録、なすべき仕事など一つにまとめて記録を作り、引き継いでいく方法を考えないと効率的な活動ができないと思う。
- ・活動内容が精査されていないため無駄が多い
- ・自己犠牲がある
- ・特定の四役に集中
- ・交流が負担

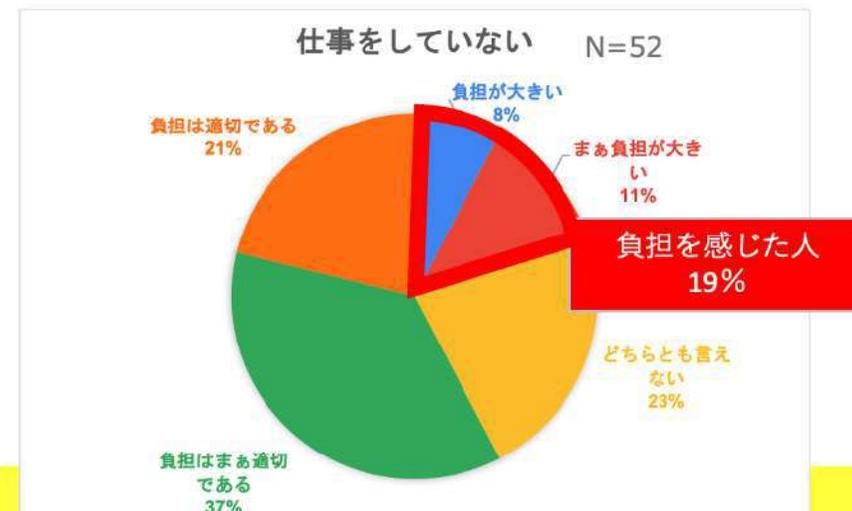
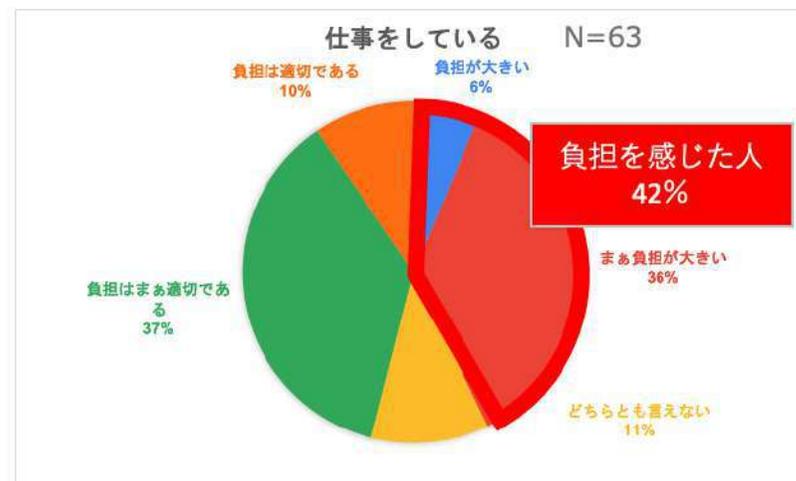
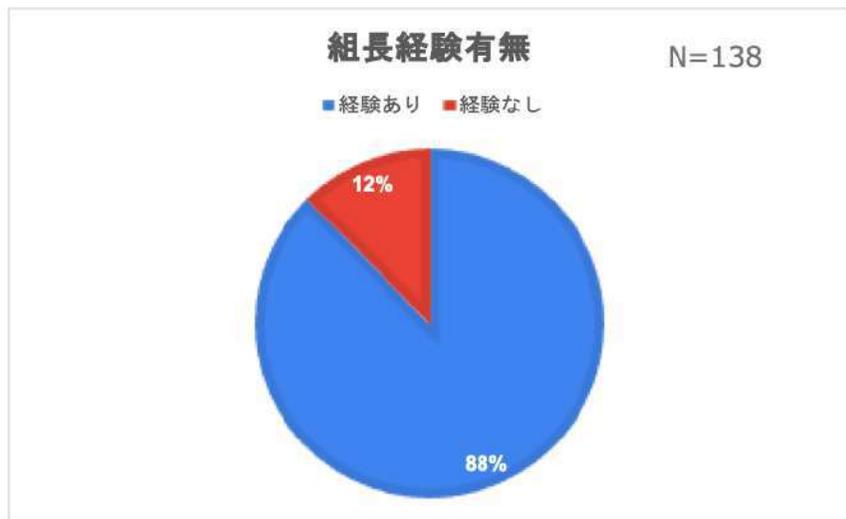
年代別_負荷に感じていること



会議の回数よりも業務自体が負担

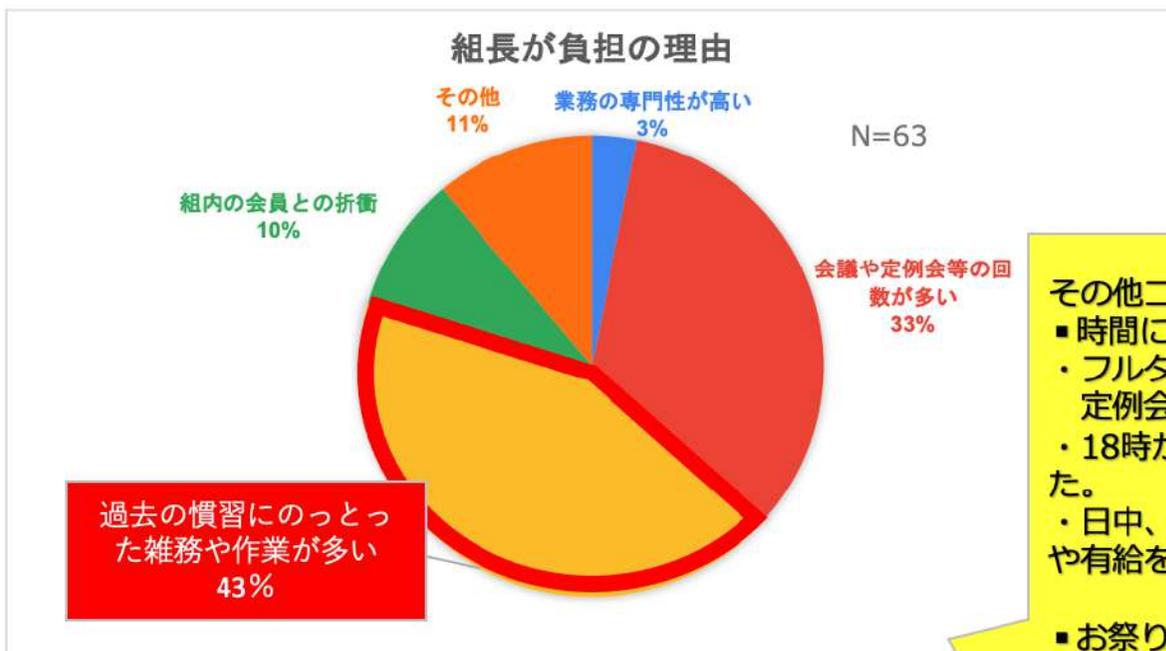
1. 組長_経験者の属性と負担度合い

- 今回のアンケートでは、**9割弱**の人が組長の経験あり
- 負担は四役と比べ大きく下がるが、**3割**の人は負担に感じていることが分かった
- 仕事の有無で見ると、仕事をしている人の方が**20%以上**負担であると回答している



1. 組長_負担に感じる理由

- ・組長の負荷も四役同様、過去の慣習に則った雑務や作業が多いがTOPになるが、会議の回数が多いにチェックを入れる人の割合が高くなる
- ・仕事の有無で、負担に感じる理由に違いは見られなかった。



過去の慣習にのっとりた雑務や作業が多い
43%

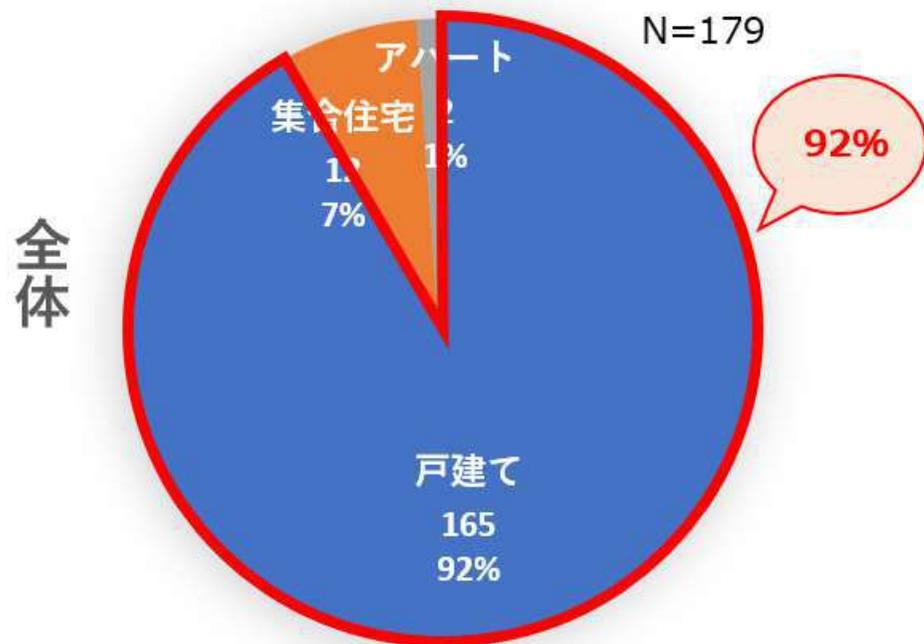
・組長の業務内容についても
お伺いさせていただければ幸いです。

その他コメント（2つに大別されました）

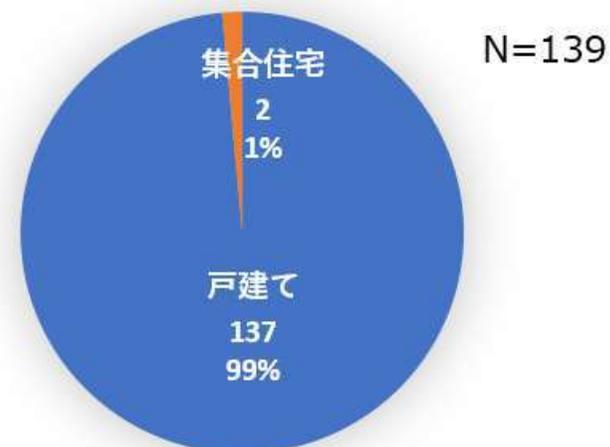
- 時間に関するコメント
 - ・フルタイムで働き、その上、休日にも仕事が多かったので、定例会等への参加が負担になった。
 - ・18時からの会議でしたので、もっと時間を早めて欲しかった。
 - ・日中、子供の行事と重なってしまったことや仕事を度々変更や有給を取らなくてはならなかった。
- お祭り準備に関するコメント
 - ・お祭りの準備
 - ・適切であるが、お祭りの負担が大きい
 - ・祭りの準備
 - ・南新井祭りの負担。時期組長の際も同じようなことなら、組長を辞退したい。

Appendix

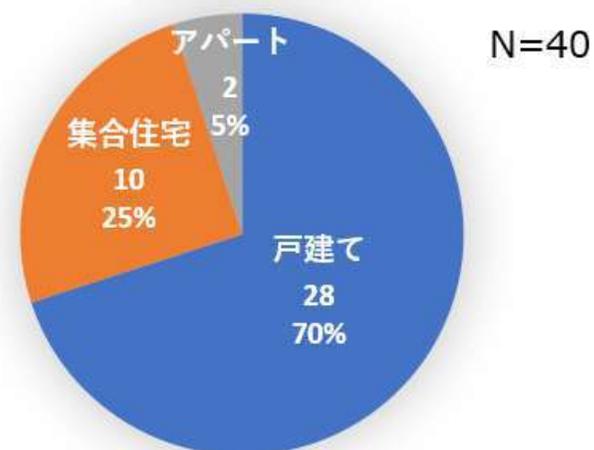
アンケート結果集計：居住形態（自治会加入・未加入）



加入



未加入

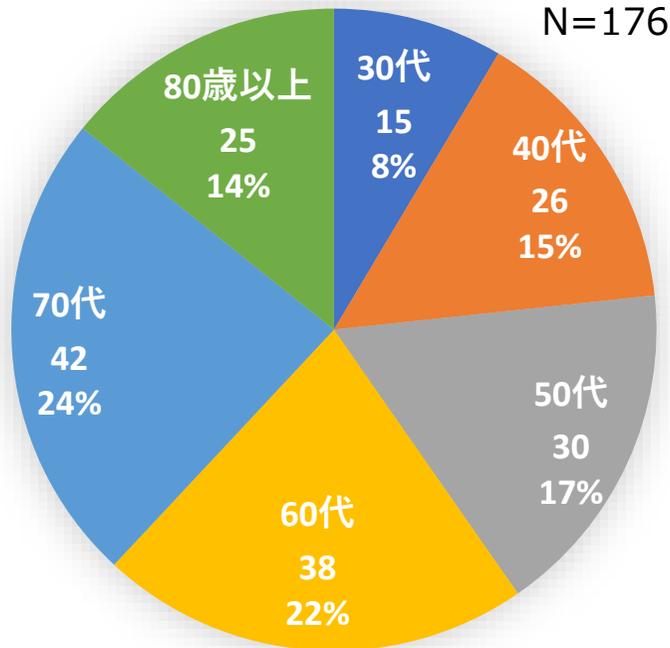


戸建てに居住する世帯が92%を占める

アンケート結果集計：年代 (南新井地区・大字新井地域の比較)

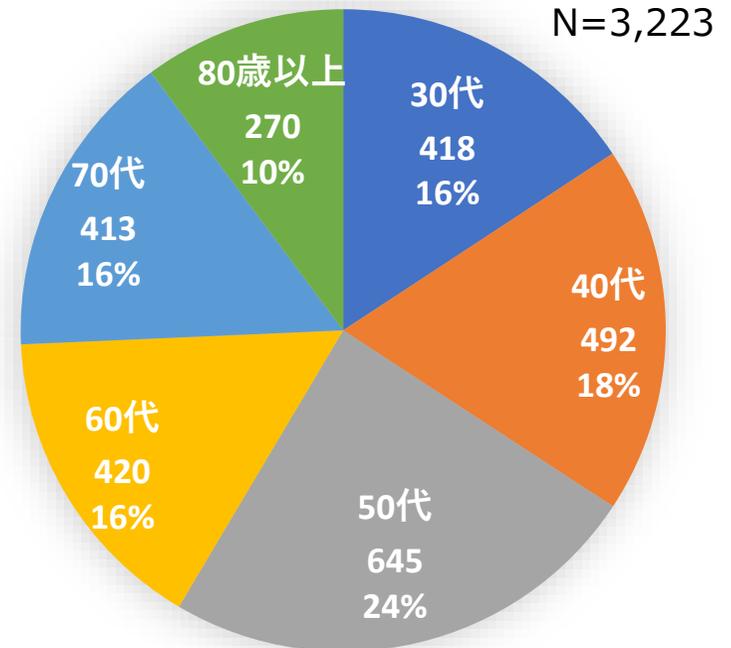
アンケート回答者

南新井地区



日野市統計データ

大字新井



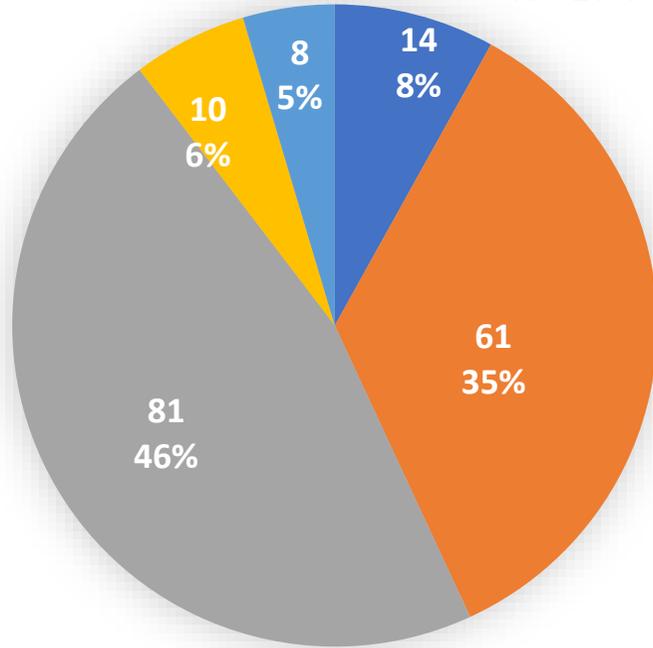
※20代は学生単身者が多いと想定され、自治会対象者と異なるため、南新井地区、大字新井共に集計外として比較

アンケート結果集計：世帯構成 (南新井地区・大字新井)

アンケート回答者

N=174

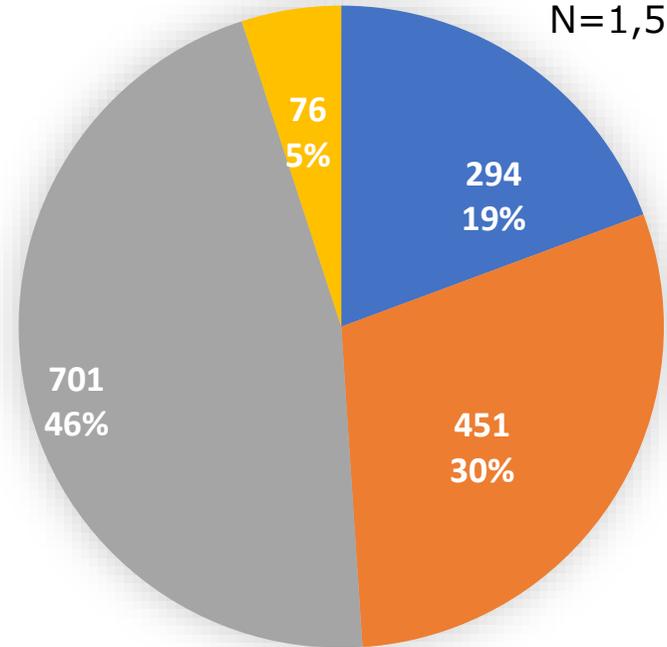
全体



日野市統計データ

N=1,522

大字新井

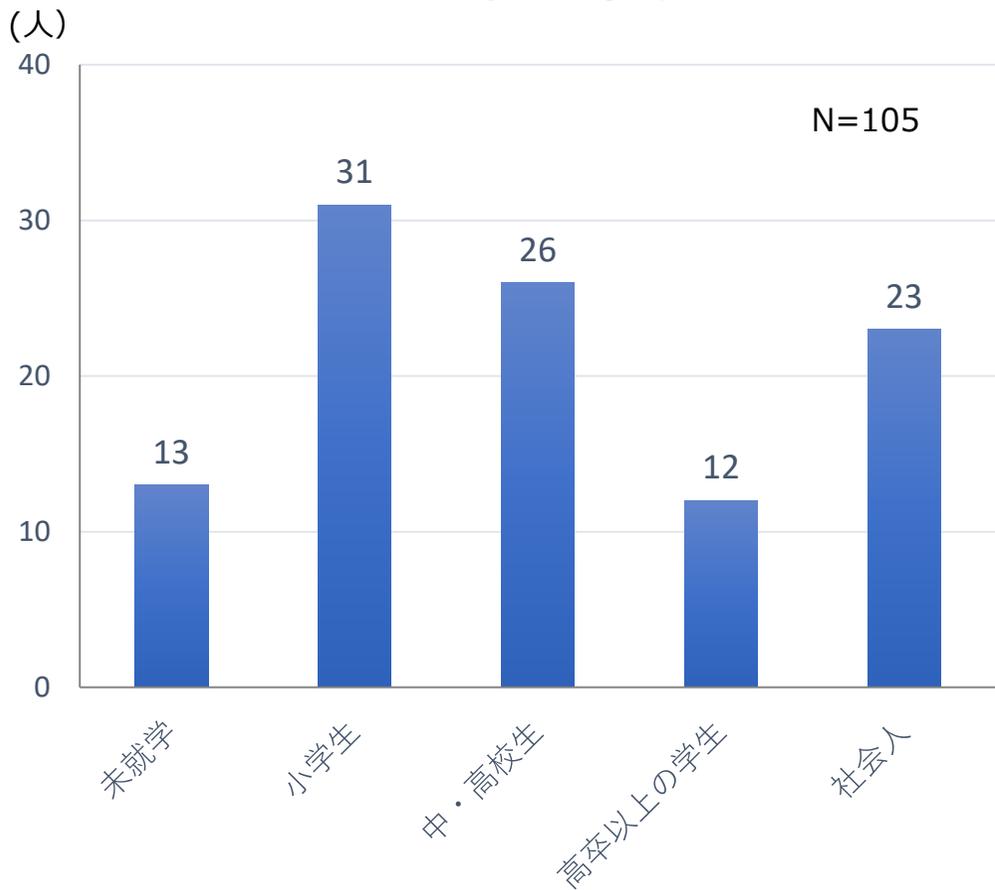


- 単身者 (60歳以上)
- 2世代同居
- その他
- 夫婦のみ
- 3世代同居

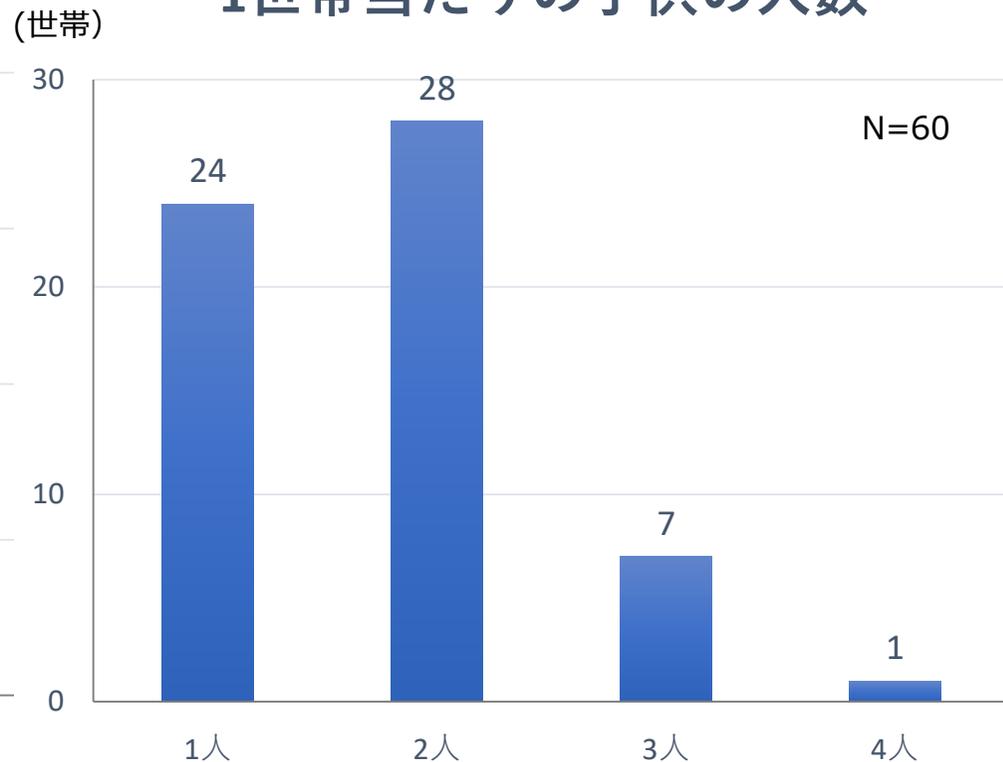
※20代は学生単身者を除外するため、単身者 (60歳未満) を除いた

アンケート結果集計：回答者の子供の属性と世帯当たり人数

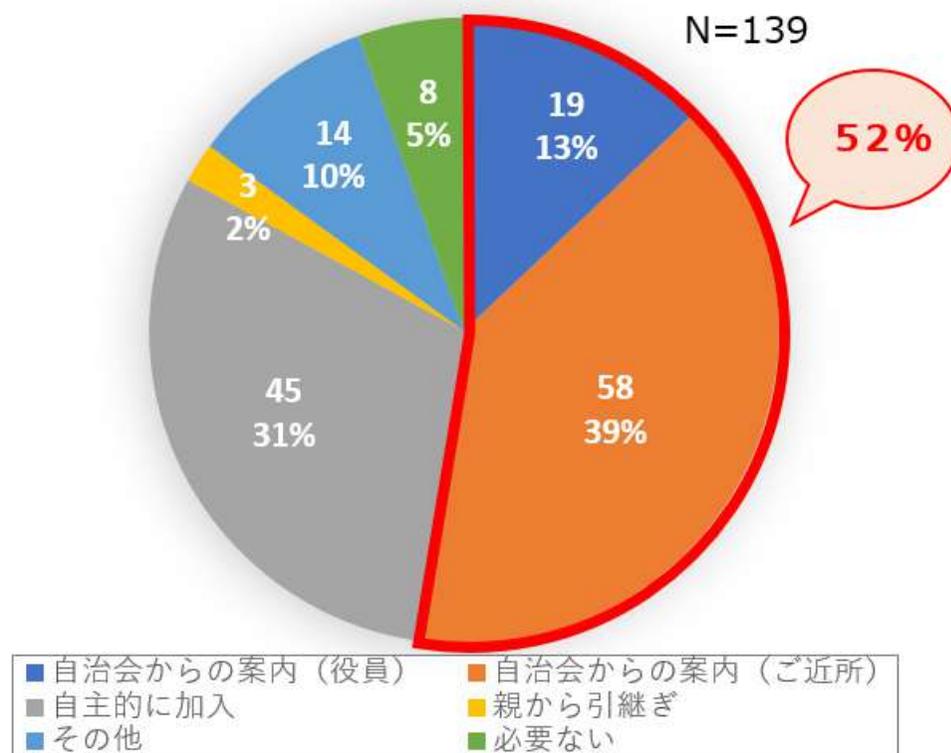
子供の属性



1世帯当たりの子供の人数



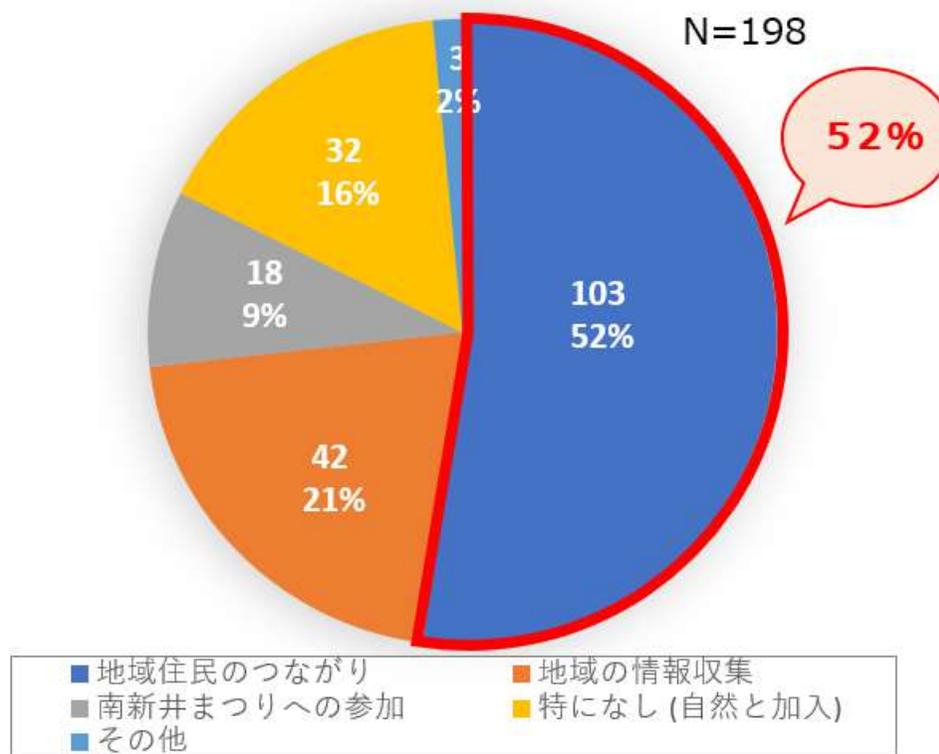
アンケート結果集計：自治会加入のきっかけ



※複数回答あり

自治会からの案内（役員・ご近所）が、52%を占める

アンケート結果集計：自治会加入の動機



※複数回答あり

「地域住民のつながり」が、52%を占める